

# データヘルス計画

## 第3期計画書

---

最終更新日：令和6年03月22日

タダノ健康保険組合

# STEP 1-1 基本情報

組合コード	86094
組合名称	タダノ健康保険組合
形態	単一
業種	機械器具製造業

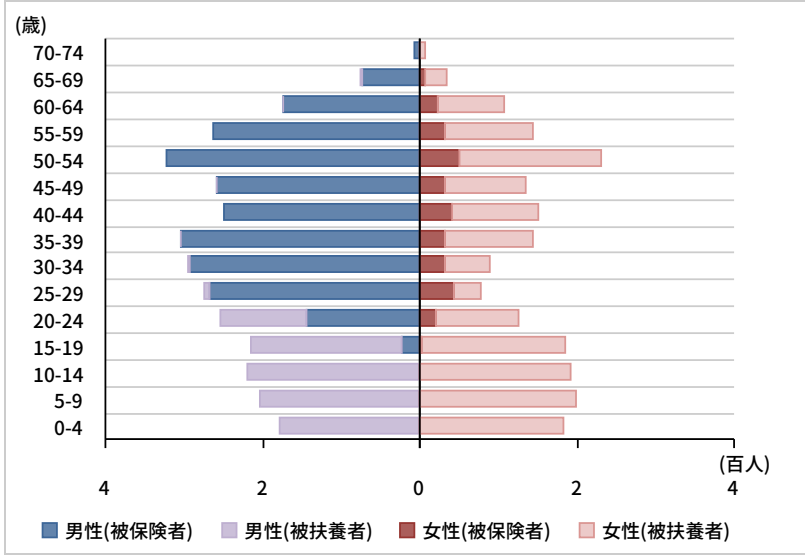
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	2,692名 男性88.3% (平均年齢42.9歳) * 女性11.7% (平均年齢42.5歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	5,299名	-名	-名
適用事業所数	13カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	75カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	100%	-%	-%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	9	-	-	-	-
	保健師等	4	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,836 / 1,977 = 92.9 %	
	被保険者	1,368 / 1,392 = 98.3 %	
	被扶養者	468 / 585 = 80.0 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	174 / 335 = 51.9 %	
	被保険者	149 / 297 = 50.2 %	
	被扶養者	25 / 38 = 65.8 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	7,850	2,916	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	3,060	1,137	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	5,300	1,969	-	-	-	-
	疾病予防費	38,600	14,339	-	-	-	-
	体育奨励費	3,600	1,337	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1	0	-	-	-	-
	小計 …a	58,411	21,698	0	-	0	-
経常支出合計 …b	1,467,583	545,165	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	3.98		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



## 男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	22人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	143人	25～29	267人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	292人	35～39	303人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	250人	45～49	259人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	323人	55～59	263人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	174人	65～69	74人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	7人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	2人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	21人	25～29	43人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	32人	35～39	33人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	40人	45～49	33人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	50人	55～59	32人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	22人	65～69	6人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	178人	5～9	203人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	220人	15～19	191人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	109人	25～29	7人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	3人	35～39	1人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	183人	5～9	199人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	192人	15～19	183人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	106人	25～29	34人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	57人	35～39	113人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	110人	45～49	103人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	180人	55～59	112人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	85人	65～69	27人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	7人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

- 1.当健保組合の規模としては、中小規模レベル。保険料率は、協会けんぽの全国平均と同率。健保組合全体の平均（R5年度92.74‰）レベルと比較しても料率は高いレベルに位置する。
- 2.被保険者の約7割が母体事業所(株タダノ)に属し、同じく約7割が香川県内に居住。加入者の男女比は6対4。海外居住者が3%存在する。
- 3.加入者は50代が最も多く、ついで30代、40代、20代の順である。扶養者比率は、0.97と減少傾向にある。全国健保平均の0.7と比較すると高い水準。
- 4.対象となる拠点（75カ所）が全国にあり、加入者も点在している。

## STEP 1-2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

1. 健康経営の取り組みが活発化しており、各事業所の健康づくり事業を健保としてバックアップしていく取り組みが必要。
2. 特定保健指導については、香川県外の被保険者、被扶養者の実施率が低い。
3. 情報提供をIT化することで、IT弱者への対応が不十分。
4. 健康づくりイベントの参加者が固定化してきている。
5. 禁煙支援事業への参加者が減少傾向。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

予算措置なし	健康経営の取組み（コラボヘルス）
--------	------------------

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健保日より
保健指導宣伝	機関紙ヘルシー＆ライフ送付事業（前期高齢者）
保健指導宣伝	専門誌「赤ちゃんとママ」
保健指導宣伝	医療費通知の配布
保健指導宣伝	管理監督者健康教室
保健指導宣伝	健康習慣者表彰
保健指導宣伝	個別健康情報誌クビオ配布
予算措置なし	加入事業所へ健康スコアリングレポートの配布

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健診被保険者（任継被保険者含む）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者・任継被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者／任継除く）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者と任継被保険者）
保健指導宣伝	受診勧奨通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品利用促進（通知）
保健指導宣伝	若年者メタボリックシンドローム対策
疾病予防	胃・大腸がん検診
疾病予防	歯科保健事業
疾病予防	心とからだの健康相談室（電話）
疾病予防	禁煙対策事業
疾病予防	郵送検診
疾病予防	女性の健康支援事業（乳がん検診・健康教育）
体育奨励	運動奨励事業（健康づくりイベント）
体育奨励	出先スポーツ奨励事業
体育奨励	スポーツクラブ利用促進（プロスバ）

#### 事業主の取組

1	定期健康診断
2	ストレスチェック
3	超過勤務者問診
4	長欠状況確認・対応
5	健康診断事後措置に伴う個別指導
6	衛生教育
7	健康相談対応
8	衛生情報提供
9	衛生月間行事
10	特殊検診・有機溶剤作業着・じん肺作業着
11	インフルエンザの予防接種

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
職場環境の整備												
予算措置なし	1	健康経営の取組み(コラボヘルス)	各事業所において、健康に関する状況の理解を深めていただき、1)健康経営宣言 2)健康課題の把握、3)疾病予防や健康増進事業などへの取組みなど、健康経営およびコラボヘルス促進事業として展開。	一部の事業所	男女	0~74	加入者全員	0	【健康優良法人打ち合わせ】 2022年5月：タダノエンジニアリング・タダノビジネスサポート健康経営開始のための打ち合わせ(メール等) 【健康経営勉強会】 2022年11月18日：タダノ教習センター健康教育 【健康経営情報提供】 2022年7月25日各事業所用スコアリングレポート送付	事業主の理解と協力 申請手続きまで丁寧にサポート	加入事業所2社が健康優良法人未取得	5
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,5	健保だより	健保だよりの構成・掲載内容の新たな企画および工夫により、被保険者および被扶養者の「健康意識向上」および「健康保険制度」「健康保険組合の状況」など、理解を深めて頂き、健康増進・理解度アップを目的に啓発効果を高める。	全て	男女	18~74	加入者全員	1,479	加入者へ啓発が必要な情報を察知し、その内容を掲載し啓発を図ることができた。(健康保険制度の注意点、変更点など)また、加入者の健康づくりを紹介する記事を増やし、健康意識の醸成を図った。 5月：収入支出予算、健康習慣者表彰者紹介、被扶養者異動届について、乳がん検診案内、健康経営優良法人について、クロスワードの答え 8月：決算報告、健康習慣者表彰受賞者紹介、ジェネリック医薬品について、接骨院・整骨院での健康保険利用について、接骨院・整骨院での健康保険利用について、心とからだの相談案内、歯科について 1月：理事長新年の挨拶、健康習慣者表彰の発表、受賞者紹介、スコアリングレポート、健保HP紹介、さわやか健保クイズ	委託業者との協力体制 健保内で発生した課題に対する情報共有 加入者の健康取組の紹介 イントラにPDFでの健保だより掲載	ペーパーレス化	5
	2,5	機関紙ヘルシー&ライフ送付事業(前期高齢者)	図書(冊子)やパンフレットの内容充実を図り、周知回数・方法等の見直しと回数増加により、健康保険制度や適正医療費等の意識づけ向上につなげていく。	全て	男女	63~74	基準該当者	85	年4回季節ごとに委託機関から直接自宅配送。 4月：53件、7月51件、10月53件、1月56件	委託業者との協力 対象者が増加傾向であるため医療費の適正化に向けて今後も継続	活用状況など対象者の反応がわからない	5
	2,5	専門誌「赤ちゃんとママ」	新米ママをターゲットにした雑誌による家族の健康への意識づけ 出産を機に、受動喫煙について理解を深め、加入者全体の喫煙率低下につなげる	全て	男女	0~2	基準該当者	555	被保険者で家庭内で出産があった対象者に対して1年間送付。 初回：お誕生号、お医者さんにかかるまでに、子ども事故予防、きちんと簡単離乳食の4冊も配布 月間赤ちゃん和妈妈配布終了後：季刊「1,2,3歳」を1年間4回配布(無料) Webでの情報提供やお手紙育児相談室も利用できる 4月2件、5月2件、6月5件、7月5件、8月6件、9月3件、10月6件、11月11件、12月8件、1月4件、2月5件、3月5件→計62件	家族構成の変化や育児不安が発生しやすい時期にタイムリーな情報提供 2年間に渡るフォロー 自宅への送付 委託先へ対象者からの高評価の手紙が届いている	特になし	5
	2,5	医療費通知の配布	医療費の定期的な通知による家族の医療費への意識づけ	全て	男女	0~74	加入者全員	604	配布した被保険者数(退職者含む)：5月2,055人、8月2,156人、11月2,163人 →職場を通じて被保険者宛に送付 2月全世帯に年間医療費通知送付(自宅)	3ヶ月に1回の発行 本人・家族ともに世帯全体での医療費を確認できる内容となっているため、健康意識の醸成につながっていると考えられる。	ペーパーによる通知のみで、各個人でデータとしてみるできない。 医療費控除の時期になると年間医療費通知を別で請求する人が多い。	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	1,2,5	管理監督者健康教室	管理職に健康教育を実施し、職場の健康づくりの意識を高める(健康文化の醸成)	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	60	実施日時:2022年10月25日 15時10分～16時20分 参加者数:143名(オンライン)、県外や当日出席できない人へはビデオ配信 講師:大西英周先生(医療法人社団光風会 三光病院) 内容:よい酔いを!アルコールチェックの義務化を受けて～アルコールの知識を深め、健康的でより良い生活を～ アンケート結果:満足度90%	衛生月間の恒例行事になっていること 事業主と香川連合会の協力 オンライン開催により、コロナ禍でも実施できた	教室当日以外で、録画した視聴数の把握が難しい	5
	2,5	健康習慣者表彰	健康づくりへの関心が高まり、生活改善の取り組みを実施する加入者が増える	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	90	【健康習慣者表彰】 募集期間:2022年9月1日～10月7日 応募条件:①当組合の被保険者②昨年度、定期健診を受診している方③取り組んだ内容や改善結果をイントラや健保だより等で公表しても良い方 募集内容:健康づくりに取り組んだ内容を記載 (自己推薦と他者推薦) 賞:応募者全員に500円分の図書カード、自己推薦:いきいき健康賞3名、他者推薦:いきいき健康賞3名 周知:イントラ、健保だよりにて紹介 応募数:自己推薦33名、他者推薦5名 【健保健康クイズ】 内容:6問の健康クイズに回答 全問正解者に抽選で20名にクオカードプレゼント 応募数:100名うち全問正解15名	表彰を受けた本人の健康意識が高まる。 対象者が公表されることにより、周囲の方への「健康意識」の醸成となる。	応募者の確保(周知方法等を工夫する必要はある)	5
	2,5	個別健康情報誌クビオ配布	健康意識の醸成を目的に配布し、加入者の健康度がアップする	全て	男女	40～(上限なし)	被保険者	55	送付日:2022年6月1日 対象者:166名 タダノアイレック、タダノテクノ西・東以外の45・50・55才 2022年7月5日:クビオ参加者アンケート調査実施(メールがある157名送付、回答率65.6%) ・お役立ち度:3.8点/5点中 ・費用の3分の2は、健保連香川連合会から支援あり。	過去のデータで経年変化の確認ができること、順位表で自分の健康状態が見えるかされること、健康づくり方策の掲載があり、健康意識の醸成に役立つ。	事業所全体の健診結果が揃うのが3月末になるため、早期に健診が終わった事業所にはタイムリーに配布できない。	5
予算措置なし	1,2,5	加入事業所へ健康スコアリングレポートの配布	各事業所の健康課題を健保と共有し、コラボヘルスが促進され、加入者の健康度がアップする	全て	男女	19～(上限なし)	被保険者	0	2022年7月25日:11事業所に健康スコアリングレポートと事業所別のスコアリングレポート配信 (事業所長と健康経営推進者宛) 2022年11月18日:タダノ教習センター健康教育実施	健康経営取組について各事業所の関心が高まりつつあること。	今後は、活用状況について調査	5

個別の事業



予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	3	特定健診被保険者(任継被保険者含む)	被保険者特定健診実施率95.0%以上、健康行動実施率(喫煙、運動、食事、睡眠状況)が向上する	全て	男女	40~75	被保険者,基準該当者	122	健診案内及び予約対応:各事業所にて対応 (任継は健保が受診券送付対応) 時期:5月~12月 健診内容:定期健診項目以外に、胃・大腸がん検診追加実施 健診結果:香川県予防医学協会受診者(全対象者の6割強)は当日医師からの結果説明あり。また健診結果には経年データ、レーダーチャートの記載あり 他、健診施設でも経年データ掲載されているところ多数。 なお、香川県内(タダノアイレック除く)は事業所保健師による全員面談フォローと県外受診者には3年に1回の事業所保健師による面談、産業医からのフォローあり。 受診確認:1月に受診状況確認、事業主と協力して受診勧奨実施。 被保険者受診者数/対象者:1367/1392=98.2%	健診日は「健康を考える日」として特休がある 各事業所の協力体制が整っている 1月~3月に未受診者のチェックと事業所へのアプローチ	健診結果データの回収に時間がかかる(香川県外) 会社役員で、会社契約外施設で人間ドックを受診している場合の健診データの回収方法見直し	5
	3	特定健康診査(被扶養者・任継被扶養者)	被保険者特定健診実施率75.0%以上、健康行動実施率(喫煙、運動、食事、睡眠状況)が向上する	全て	男女	40~74	被扶養者,基準該当者	5,438	健診案内:香川県予防医学協会受診予定者は前年度の2月、それ以外で受診予定者には4月に健診案内、希望調査実施。 予約対応:被保険者と同時受診希望者分は、各事業所担当者に予約依頼。その他(任継含む)は5月末に受診券送付。 時期:5月~12月 健診内容:被保険者と同時受診する場合は、定期健診項目に追加して胃・大腸がん検診実施(インセンティブ)。それ以外は特定健診項目のみ。案内にて市区町村のがん検診紹介。 健診結果:香川県予防医学協会受診者(全対象者の6割強)は当日医師からの結果説明あり。また健診結果には経年データ、レーダーチャートの記載あり 他、健診施設でも経年データが掲載されているところ多数。 健保にてデータ受領後、要精密検査がある者に対し健診フォローの手紙を送付(14件) 個別案内受診者:本人が単身赴任中の被扶養者に案内(日本健康文化振興会委託)(送付数38件→28件、扶養削除2件、ペア受診変更2件、受診券変更1件) パート先受診者:5月末に案内を送付し、健診結果提供をお願いし、提供者にはインセンティブ付与を行った。(送付数24件→提出件数5件 提出率20.8%) 受診券発行数(任継本人含む):126件→受診券受診者41件(受診券受診率32.5%) 被扶養者受診者数/対象者:468/585=80.0%	事業所の協力の下、被保険者と同時予約、受診できる体制が整っている 被保険者と同時受診の場合、健診項目が充実し、がん検診も同時に受診可能ということがインセンティブになっている パート受診者への個別案内送付にて提出依頼とインセンティブ 2022年度から被扶養者単身赴任の場合の被扶養者の健診申込みを個別へ変更し、各事業所負担を軽減	パート先受診者からの健診データの回収が難しい 受診券発行者の3割しか受診していない	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定保健指導事業	4	特定保健指導(被保険者/任継除く)	特定保健指導実施率60%以上を維持し、特定保健指導対象者を減らす。	一部の事業所	男女	40～74	被保険者,基準該当者	<p>期初に健保から各事業所へ協力依頼を要請</p> <p>【香川県内】          &lt;&lt;予防医学協会受診者&gt;&gt;          ・積極的支援：委託機関にて対応。初回面談は健診当日実施。中間は安全衛生G、最終面談は健保で実施。(49名)</p> <p>・動機づけ支援：初回面談事業主保健師実施。最終評価健保実施。(68名)          &lt;&lt;タダノアイレック&gt;&gt;          まるがめ医療センター受診者は当センターへ委託          ・初回面談：健診当日に実施          ・中間、最終面談：医療センターにて実施(25名)</p> <p>【香川県外】          積極的支援：ベネフィットワン モデル実施(10名)          動機づけ支援：SOMPOヘルスサポート(6名)          保健指導実施率151/297=50.8(6月時点見込)</p>	各事業所の協力と理解 事業所の保健師の協力 香川県内は、健診当日に初回面談を受けることができることや事業所保健師の健診フォローが活用できる 社内では、オンライン面談が直ぐに対応可能だった	香川県外では、委託機関がオンライン面談未対応工場勤務者の場合は、オンライン面談が難しい場合もあり。	5	
	4	特定保健指導(被扶養者と任継被保険者)	特定保健指導実施率70%以上を維持し、特定保健指導対象者を減らす。	全て	男女	40～74	被扶養者,基準該当者	<p>【香川県内】          &lt;&lt;予防医学協会受診者&gt;&gt;          予防医学協会へ委託し、初回面談は健診当日に実施している。(23人)          &lt;&lt;タダノアイレック&gt;&gt;          まるがめ医療センター受診者は当センターへ委託。初回面談は健診当日に実施。(2人)</p> <p>【香川県外】          SOMPOオンラインのため見送り</p> <p>【パート先健診】          今年度対象者なし</p> <p>特定保健指導実施率 25/38=65.8%</p>	委託業者との連携 香川県内対象者は、健診当日に初回面談を受けることができること	香川県外対象者は、健診受診日から初回面談までに時間が空いてしまいタイムリーに実施できていない。 拒否の返信や何度かアプローチしても返信がないので対応に苦慮	5	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
保健指導宣伝	3,4	受診勧奨通知	重症疾患の発症を予防し、医療費削減につなげる	全て	男女	18～74	被扶養者,基準該当者	<p>【被扶養者への受診勧奨通知（被保険者は事業主保健師が実施）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して実施。健診データ受領後、結果確認し該当者に封書にて通知。通知件数25件。</li> <li>・がん検診精密検査未受診者調査がん検診要精密検査者38名のうち未受診12名送付→返信あり8名</li> </ul> <p>【受診率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病健診要精者56名→受診32名=57.1%</li> <li>・がん検診要精者56名→受診27名=48.2%</li> </ul> <p>【重症化予防】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：生活習慣病リスクの該当者で安全衛生Gが未把握の者（被保険者）32人</li> <li>・方法：メールもしくは手紙にて調査</li> <li>・返信率：25人/32人=78.1%</li> </ul>	事業主保健師と協力 今年度の健診開始前に通知	糖尿病治療やその他治療していても検査結果の数値が高値で、リスクが高い人も多い がん検診の要精者の受診率が低い	5	
	7	ジェネリック医薬品利用促進（通知）	医療費の適正化（薬剤費削減）	全て	男女	0～74	加入者全員,基準該当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3か月に1回基準該当者へ差額通知送付</li> <li>・健保だよりにて周知</li> <li>・2022年夏号:ジェネリック医薬品について周知</li> <li>・健保ホームページでの周知</li> </ul> <p>2023年1月に開設し、ジェネリック医薬品活用の広報あり。</p>	医療費通知との同時周知 健保ホームページへの掲載	ジェネリック医薬品への抵抗感	5	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
	3,4,5	若年者メタボリックシンドローム対策	対象者のデータが改善し、39才以下の生活習慣病リスク保有者が減少する。将来的に特定保健指導対象者の減少につなげる。	一部の事業所	男性	18～39	被保険者	<p>健保実施分</p> <p>【対象者】 2022年度定期健康診断を受診した香川県外35才～39才の者で、「積極的支援」と判定された人。なお、初回面談がオンライン面談であるため、会社（事業所）からメールアドレスを付与され、会社PCを貸与されている者に限定する。 参加案内者数：10名→実施7名</p> <p>【実施方法】 株式会社ベネフィットワンに委託し「生活習慣改善プログラム」を実施。 【実施時期】 6月～12月 【実施内容】 腹囲-2cm、体重-2kgを目指し、3か月間1CT個別面談30分、電話、メール支援を受ける。プログラムで目標未達の場合は、最長6か月までのプログラムが延長される。（健康グッズの進呈あり） 【費用】 香川連合会全額負担</p> <p>安全衛生G実施分</p> <p>【対象者】 34才以上40才未満 現時点で特定保健指導積極的支援該当者18名 【目的】 5年以内に新しく特定保健指導対象者になる見込みの方への生活改善意識付け 【方法】 健康診断の結果と合わせて体組成を測定。2～4人での意見交換（生活改善の実践について）を行い、行動変容のきっかけとしてもらう。 【実施時期】 11月</p>	・終業時間中に実施するなど事業主の協力体制	PCが貸与されていない現業系には実施が難しい。	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	3,4	胃・大腸がん検診	検診受診率90%以上を維持し、早期発見による胃・大腸がん医療費の削減	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	<p>定期健診（特定健診）と同時に実施 35～39才の被保険者本人とペア受診を希望した被扶養者にも実施している 受診券送付者に対しては、案内文に市町村がん検診についての文章を入れている (受診者数) 被保険者：胃1,492名、大腸1,567名 被扶養者：胃341名、大腸427名 (受診率：35歳以上健診受診者数のうち) 被保険者：胃1492/1740=85.7%、大腸1567/1740=90.1%（*対象者：4/1時点の人事リストより抽出） 被扶養者：胃341/516=66.1%、大腸427/516=82.8%（*対象者：ペア受診希望者のみ） (項目別) 胃：1833/2256=81.4%、大腸：1994/2256=88.4% 【受診勧奨】 香川県予防医学協会受診者、香川県外従業員は要精密検査未受診に対する調査実施（事業主） 被扶養者、タダノアイレックは健保で手紙送付</p>	<p>毎年継続実施しているため受診の定着化 定期健診（特定健診含む）と同時に受診できる体制 胃カメラ受診希望者には胃バリウム検査費用の差額のみ支払いで受診できる</p>	<p>胃カメラ希望者が増加している 受診券での受診者へのがん検診補助ができていない 胃がん、大腸がんともに35才以上から実施しており、過剰検診であり、過剰診断につながる恐れあり。</p>	5	
	3,4,5	歯科保健事業	受診率向上による歯の健康増進、歯科疾患の予防、早期受診勧奨	一部の事業所	男女	18～74	基準該当者	<p>【訪問歯科健診】 高松・志度・香西 8月と2月実施→対象者1048人、実施数559人 (53.3%) タダノアイレック 11月実施→対象者178人、実施数60人 (33.7%) 【歯科保健通信講座】 対象者：香川県外事業所所属被保険者希望者 希望者数：75名 実施時期： ・問診回答 9月 ・7ドバースト、教材 10月 中旬 発送 ・参加者 30days プログラム実施 10月 下旬～11月 下旬 ・実施後アンケート回答：12月 中旬～12/31 (アンケート回収61名・81.3%) →機会があればまたチャレンジしたい90.2%</p>	<p>・訪問歯科健診の再開とタダノアイレックでの実施。 ・歯科保健通信講座は、今まで歯科保健の取組が少なかった香川県外の被保険者を対象にしたこと。→香川連合会と共催</p>	<p>・希望者が参加する方法だったため、歯科保健について関心の低い人には届いていない可能性。 ・30日間のチャレンジ期間中は一人で取り組む機関になるため継続のための呼びかけが必要。 ・アンケートは委託先が回収しているため、未回答者の把握が難しい。</p>	5	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
	5,6	心とからだの健康相談室(電話)	こころとからだの悩みのが解消し、受診控えの減少、過剰受診の減少につなげ、将来的に医療費が削減できる	全て	男女	0～74	加入者全員	年間を通して外部委託し、実施定期的に報告書の提供あり 8月の健保だよりにて利用案内掲載 健保ホームページにて 【からだの相談件数】 - 電話相談：60件 WEB相談：3件 【こころの相談件数】 電話相談：21件 面談相談：14件 WEB相談：0件	24時間の相談、メール相談ができる 健保ホームページでの情報提供	海外は、別サポート(インターナショナルSOS)を活用している可能性がある WEB相談が事前の登録が必要	5
	5	禁煙対策事業	喫煙に伴う将来リスクの低減、受動喫煙など周りへの環境改善のため喫煙率20%以下(被保険者、被扶養者合計)を目指す	全て	男女	18～74	被保険者	【禁煙外来補助事業】 ・5月～年間を通して実施。申請0件 【禁煙ラリー】 2回実施 ①5月：世界禁煙デー11名参加。 ②10月：健康強調月間4名 合計15名参加(成功6名) 【啓発事業】 ・予防医学協会受診者の内50才以下の喫煙している積極的支援者への短時間禁煙支援21名実施。	非喫煙者の同僚や家族が支援者になることができ、インセンティブもある。 年2回の開催	喫煙している被扶養者へのアプローチ 喫煙者の固定化 禁煙外来でのチャンピックス(禁煙経口治療薬)の出荷停止	5
	3,4	郵送検診	がんの早期発見・早期治療につなげる、検診機会を提供し、健康意識の醸成につなげる	全て	男女	30～74	被保険者、被扶養者	230 年1回実施 5月に職場を通して案内、申込受付(6月末まで) 希望者は各自、委託機関へ申し込みを行う。→イントラ掲載しメールでの申込み可能 健保では資格確認と受診勧奨の実施 申込53件(肺がん19件、大腸がん14件、前立腺がん26件、便中ピロリ21件、歯周病7件、生活習慣3件)	自宅で実施できる 特定健診対象外の加入者も受診できる メールでの申込が可能となった	検体採取(血液)を自分で実施することに抵抗がある人もいる 申込み後に、検体を速やかに提出しないやキャンセルする人がいる	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3,5	女性の健康支援事業(乳がん検診・健康教育)	早期発見による乳がん医療費の削減 被保険者女性が健康にいきいきと職業生活を送れるように、年に1回健康教育を実施する	全て	女性	20～(上限なし)	被保険者,被扶養者	1,624	<p>●乳がん検診 【対象者】 被扶養者40歳以上女性654名 【検診内容】 マンモグラフィー もしくは 乳腺エコー検査のどちらかを選択 【検診施設】 香川県予防医学協会もしくは、日本健康文化振興会が契約している施設 【検診受付期間】 6月～12月 【受診者数】 206名/654名(受診率31.5%) 要精密検査者：13名</p> <p>●女性の健康教室 【対象者】 20～30歳代女性 【内容】 生理について 【実施日】 10月7日(金) 13時～14時30分 【参加者数】 22名</p> <p>●お灸講座 【対象者】 女性被保険者 【内容】 鍼灸師からお灸を使い心身のセルフケア方法を学ぶ 【実施日】 志度：12/14(13時30分～15時) 高松：1/11(10時～11時30分) 【参加者数】 各回20名限定(計40名) →39名</p>	乳がん検診はインターネットで気軽に予約できる 予防医学協会受診者は直接予約できる	健保補助以外で検診を受けている人もいるため、全体の受診率は不明。 教室はネット環境がないと参加しにくい。	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
体育奨励	5	運動奨励事業 (健康づくりイベント)	運動の機会を提供し、適切な運動習慣を有する者が増える	一部の事業所	男女	18～65	加入者全員	43	<p>【健康アプリ(歩数アプリ)導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象: グループ会社所属員</li> <li>タダノ安全衛生Gが主体で実施し、健保は支援</li> <li>2022年12月時点520名登録(登録率19.6%)</li> </ul> <p>【香川連合会主催】</p> <p>①マイチャレかがわグループ対抗戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象: 香川県内事業所所属で3～5名でグループ結成し、マイチャレかがわに登録している人</li> <li>期間: 9/1～9/30</li> <li>実施内容: 30日間のグループの平均歩数で競う</li> <li>参加者数: 22G (のべ86名)</li> </ul> <p>②ひとり歩きこんびらさん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象: 香川県内在住の被保険者</li> <li>期間: 10月上旬～11月30日</li> <li>内容: 期間内にこんびらさんをウォーキング。参加者にはカフェ利用チケットプレゼント。歩行記録提出すると粗品。</li> <li>参加者数: 92名</li> </ul>	個別に空いている時間に、ウォーキングを実施するため参加しやすい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康アプリの登録数が伸びない→アプリ登録の難しさ</li> <li>マイチャレかがわは、香川県内勤務者に限られる。→県外加入者の運動促進が課題</li> </ul>	5
	5	出先スポーツ奨励事業	運動の機会を提供し、適切な運動習慣を有する者が増える	全て	男女	18～65	被保険者, 基準該当者	501	<p>年度1回の申請。</p> <p>対象者: 4月～1月末までにスポーツ施設を利用した人(スポーツ内容は問わない)</p> <p>申請期間: 2月中</p> <p>申請件数: 42件 (4/1時点の県外在籍者利用率42/664=6.3%)</p>	スポーツの種類を問わず、施設を継続利用していただければ良いこと。申請書式を簡略化し、補助金の支給方法も変更(給与振り込み)	申請者が香川県外被保険者の6%だけ。	5
	5	スポーツクラブ利用促進(プロspa)	運動の機会を提供し、適切な運動習慣を有する者が増える	一部の事業所	男女	18～74	加入者全員	356	1ヶ月ごとに利用券120枚(300円/枚)を、食堂売店にて販売 人気のため1人当たりの購入枚数制限を設けている	利用料が安い 口コミ 人材育成Gによる新入社員教育の際の周知	利用者が固定化 志度・高松以外の香川県内でのスポーツ施設利用事業がない	5

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業





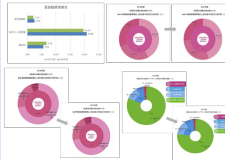
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%






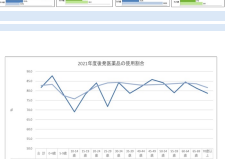


事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
定期健康診断	労働安全衛生法に基づく検診 特定健診対象者はこれを兼ねる	被保険者	男女	18 ～ 65	実施率100%	「勤務時間中」及び「特別休暇」にて受診	業務都合で日程変更せざるを得ないケースが多い	有
ストレスチェック	目的：本人のストレスに気づきを促す、メンタルヘルス不調のリスク低減、職場環境改善 概要：年に1回全従業員にストレスチェックを実施。(株)エムステージ、システム開発：(株)ヒューマネージに委託して実施。	被保険者	男女	- ～ (上限なし)	衛生月間の時期に合わせて実施 2022年度 受検率99.3% (2021年99.5%)、セルフケア取組率71.8% (2021年71.8%)	オンライン受診者に対し、リマインドメールを送り受診勧奨 オンラインが難しい職場に対して、会場での一斉受診の実施	高ストレス者への対応	無
超過勤務者問診	目的：超過勤務者の健康チェック 概要：職場からの依頼により該当者の問診票をチェックし、必要に応じて面談を実施する	被保険者	男女	18 ～ 65	依頼へは100%対応している。	身近な保健師が迅速に対応している	業務多忙のため対象者増加傾向	無
長欠状況確認・対応	目的：長期欠勤者の状況把握と復帰支援 概要：労務Gからの依頼で診断書提出社員の状況確認。また毎月の長期欠勤データをとりまとめ安全衛生委員会に報告	被保険者	男女	18 ～ 65	長期欠勤者の確認実績100%	面識となじみのある保健師からの指導により支援スムーズに行く	香川県外在籍者へのフォローはどうしても電話又はメールとなることが多い	無
健康診断事後措置に伴う個別指導	要精査検査・要治療者の検査及び治療結果の把握、生活習慣指導	被保険者	男女	18 ～ 65	香川県内の実施率 100% 香川県外の実施率 34%	勤務時間中のフォロー	県内は年一度のフォロー対応できるが、県外では三年に一度しかフォローできない。面談できない間合いでも電話又はメールを使ったフォローの検討も必要。	無
衛生教育	目的：衛生知識の普及 概要：①新入社員教育②熱中症予防教室③新規管理職研修④節目検診受診者教室(年5回)⑤保健委員会(年6回)⑥VDT教室⑦有機溶剤教室⑧粉じん作業教室⑨新規40歳教室⑩管理監督者健康教室⑪依頼に基づく健康教室	被保険者	男女	18 ～ 65	28年度開催実績：30教室	各教室の対象者へは個別に案内の上、実施している。	従来からの教室を継続開催しているのが現状である。 健診データからの科学的アプローチを含め開催する教室の質及び内容を見直す必要がある。	無
健康相談対応	目的：衛生情報の提供 概要：事業所の保健師が健康相談対応。	被保険者	男女	18 ～ 65	年間を通じて事業主側の保健師が対応。	常勤の保健師が対応するため信頼関係がある。	県外はどうしても電話・メールでの対応が中心となる。	無
衛生情報提供	目的：衛生情報の提供 概要：保健師だよりの作成と安全衛生委員会時保健師資料の作成	被保険者	男女	18 ～ 65	保健師だよりは随時更新、毎月安全衛生委員会にて保健師資料配布後、従業員にはイントラに掲載して広報 体力増進センター便り更新、年一回	新規かつ時流に合った情報の提供を心掛けている。	PCにアクセスできない方もおりイントラが見れない人がいる。	無
衛生月間行事	目的：衛生活動の普及促進 衛生週間(月間)に関連する諸行事概要： ①健康づくり自己宣言 ②職場「健康づくりイベント」 ③個別「健康づくりイベント」 ④第8回(H30年度)レッツウォーク・ラン ⑤禁煙外来の補助事業	被保険者	男女	18 ～ 65	全国衛生週間(10月1日から7日)にあわせ、これを事業主は月間行事に拡大して実施している。	安全衛生委員会および保健委員会を通じて周知活動とイントラ掲載による広報	参加者が健康意識の高い一部の方に偏りがち	有
特殊検診・有機溶剤作業・じん肺作業	労働安全衛生法に基づく検診	被保険者	男女	18 ～ 65	実施率100%	勤務時間中の受診	稼働率向上に伴う人員増により、対象者が増加傾向にあること	無
インフルエンザの予防接種	目的：集団感染の予防による業務の円滑化	被保険者	男女	18 ～ 65	事業主が主体に取り組み 現在は、被保険者に対し、全額補助で実施。	集団接種の場合、勤務時間中に予防接種を受けられる。	任意継続被保険者及び被扶養者への対応が現在ではなく、今後、健保事業とする場合は、健保からの給付方法(対応)に難点あり。	無
献血事業	目的：社会貢献と奉仕 概要：年2回 志度、高松、技研、三本松 献血者にて採血	被保険者	男女	18 ～ 65	28年度実績：総数 478名 夏：冬 に開催。献血車にて献血。	日程希望調査の上、就業時間中に実施。	天候及び業務の負荷状況等により献血者数が増減する	無

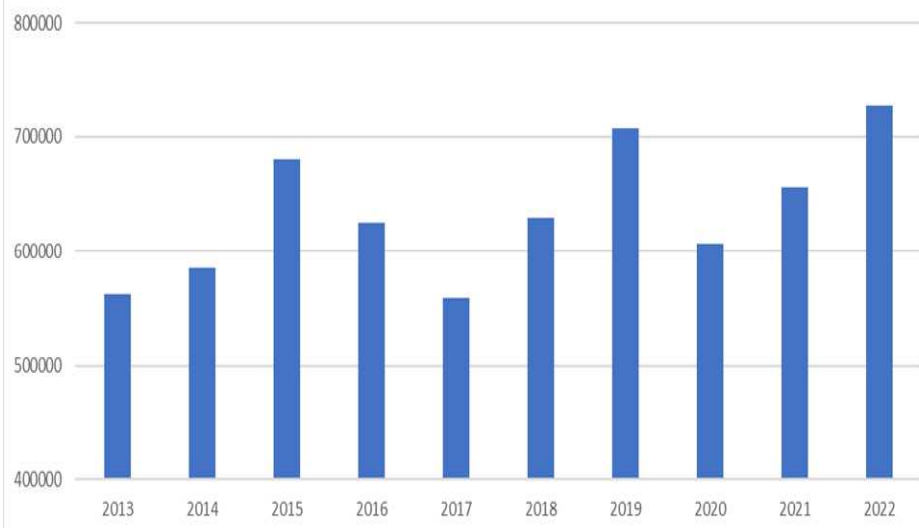
## STEP 1-3 基本分析

### 登録済みファイル一覧

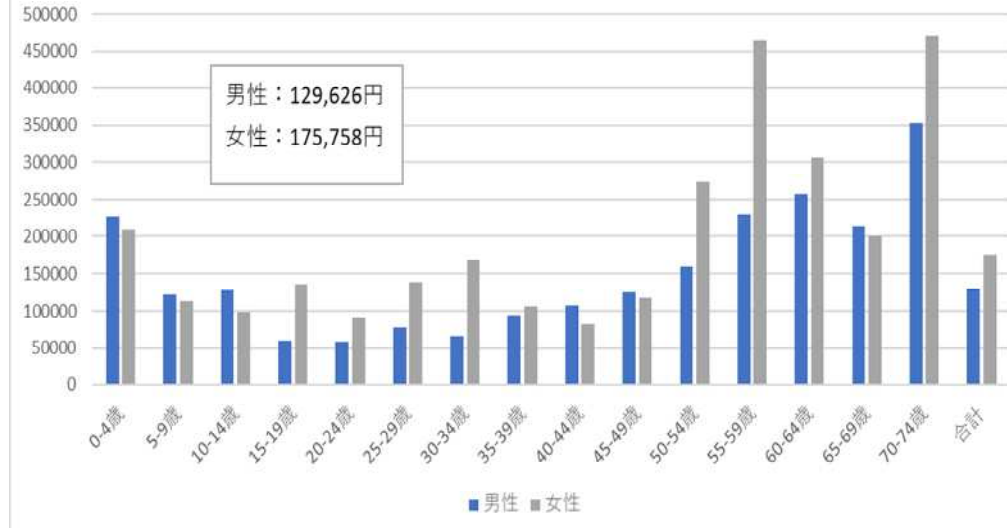
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		保険給付費と1人当たりの医療費	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険給付費は、年度によって波はあるものの全体としては増加傾向</li> <li>・男女別の1人当たりの医療費では、女性が男性よりも約5万円高く、40代以外の年代では男性の医療費を上回っている。</li> <li>・20代～40代、60代は全健保より1人当たり医療費は低いものの50代は全健保を上回っている。</li> <li>・1人あたりの医療費は、被保険者は全健保平均より全年代低いものの、被扶養者が全健保平均を上回っている年代が多く、特に50代被扶養者の医療費が高い。また、被保険者でも唯一55～59才が全健保平均を上回っている。</li> <li>・50歳以上の1人当たりの医療費では、新生物、内分泌・栄養・代謝障害、循環器疾患、消化器疾患、筋骨格系・結合組織疾患、腎尿路生殖器疾患が高い。</li> </ul>
イ		疾病19分類別 1人当たりの医療費	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度に比べ新生物の1人当たりの医療費が増加している。</li> <li>・呼吸器疾患については2018年よりも減少しているものの第2位の医療費の高さ。</li> <li>・循環器疾患が2018年よりも増加に転じており、内分泌・栄養・代謝疾患は横ばい。</li> </ul>
ウ		生活習慣病10疾患 1人当たり医療費	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣関連疾患の1人当たりの医療費は糖尿病が最も高く、高血圧が次に高い。</li> <li>・インシュリン治療の1人当たりの医療費が全健保平均よりも高値。</li> <li>・人工透析の1人当たりの費用は、2018年と同様に全健保平均よりも大幅に高い。</li> </ul>
エ		特定保健指導対象者 メタボ該当者割合	特定保健指導分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導対象者率は、減少傾向。</li> <li>・メタボリック該当者率は横ばい傾向で、全健保平均値よりも高い。</li> <li>・本人：全健保平均値よりも該当者割合が高いものの、2018年度に比較して、40～54歳の該当者割合が減少している。</li> <li>・被扶養者：2018年に比較して該当者が増加している。</li> <li>・メタボリック該当者のうち、男女ともに「高血糖・高血圧・高脂血症」3つの要因をもった者の割合が高い。</li> </ul>
オ		受診勧奨者割合（糖尿病・高血圧・慢性腎臓病）	健康リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性腎臓病、脳卒中・心筋梗塞の受診者割合はわずかに減少。ただし、3疾患治療なしで、高血圧要治療者数は横ばい、慢性腎不全では、要保健指導割合が増加している。</li> <li>・糖尿病受診勧奨者は増加。特に3疾患治療なしのうち、HbA1c6.5～7.3の値の者が増加。</li> </ul>

カ		新生物疾患別1人当たり医療費	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器がんの医療費が高い。</li> <li>・乳房、女性生殖器の医療費が高い。</li> <li>・加入者のがんの発生についてはコントロールが難しく、年度によってがんの医療費にバラつきが大きい</li> </ul>
キ		メンタル系疾患医療費分析	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタル系疾患の1人当たりの医療費は、全健保に比較して低いが、2018年度に比較して、「気分障害」の1人当たり医療費が増加している。</li> <li>・気分障害の1人当たりの医療費を年齢別・男女別でみると男性では30代前半と40代前半が多く、女性は10代後半、50代前半、60代後半が高い。</li> </ul>
ク		歯科3疾患・歯科健診分析	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・う蝕、歯肉及び歯周疾患の1人当たりの医療費は横ばい。</li> <li>・本人の歯肉及び歯周疾患の1人当たりの医療費は、ほぼどの年代も全健保平均よりも高い。</li> <li>・社内歯科健診データでは、全国平均よりも残存歯が多く、DMFT値が低く、健全な歯を有している者が多い。</li> </ul>
ケ		喫煙率	健康リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女ともに2018年度に比較して2021年度は喫煙率が下がっている。</li> <li>・男性で喫煙率が30%を超えている年代は、40代と60代前半</li> <li>・女性で喫煙率が高いのは45～54歳、60代後半</li> <li>・全健保との比較では、4ポイント以上喫煙者が多い。</li> <li>・メタボ基準該当者の28.1%、予備軍の27.9%が喫煙者</li> </ul>
コ		運動習慣分析	健康リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スコアリングレポートでは、運動習慣リスク指標が他健保より悪い。</li> <li>・同レポートでは、運動習慣なしの人に肥満リスク保有者割合が高いことが明らかとなっている。</li> <li>・「日常生活に置いて歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施」と「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」の2項目が2018年度より2021年度は悪化。また、同2項目は、他健保よりも割合が低い。</li> </ul>
サ		後発医薬品使用割合	後発医薬品分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合計では、全健保に比べて使用割合が低い8割は超えている。</li> <li>・10～14歳、25～29歳、35～39歳、55～59歳が全健保よりも特に使用割合が低い。</li> </ul>

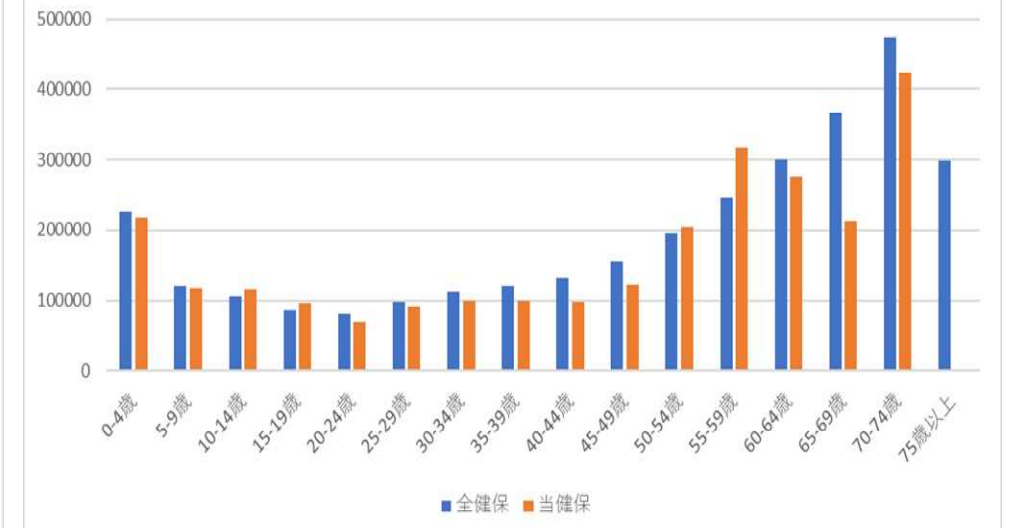
保険給付費



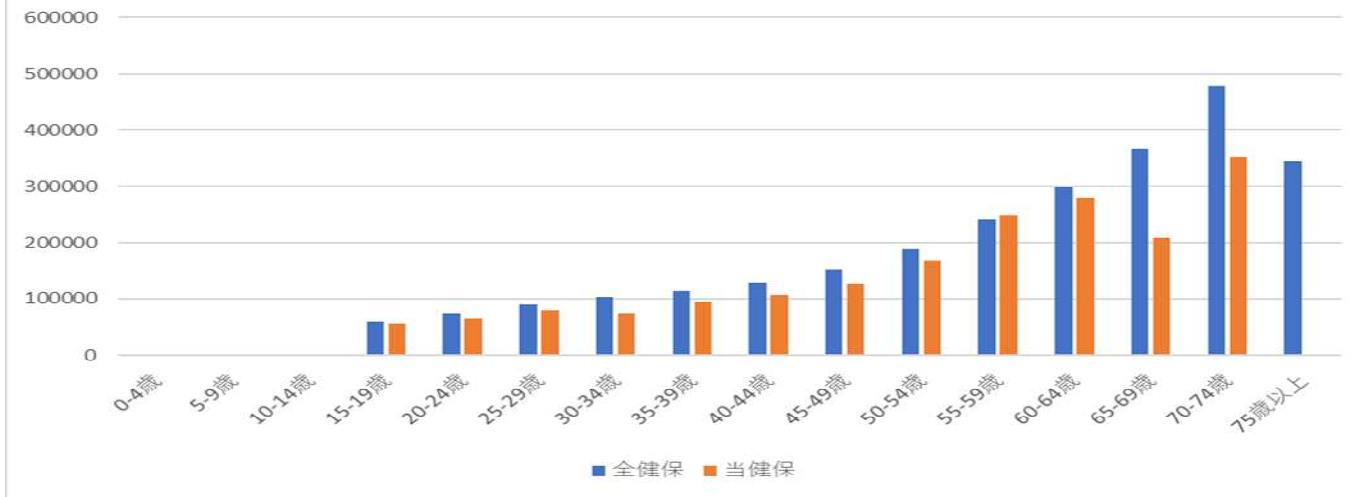
1人当たりの医療費 男女別



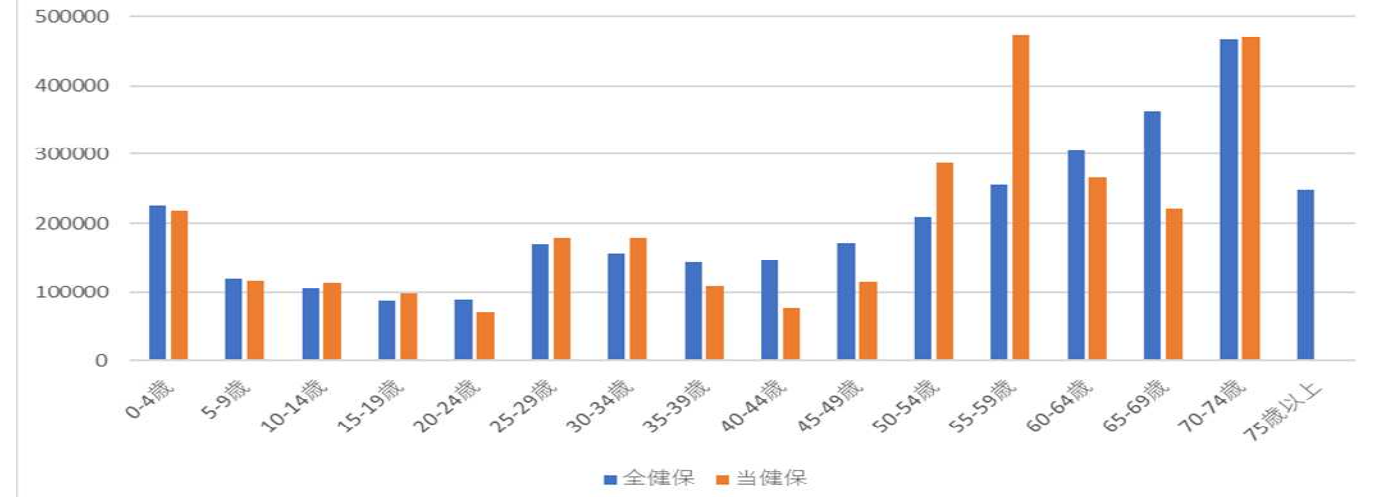
2021年度 年齢階層別医療費（1人当たり）全体



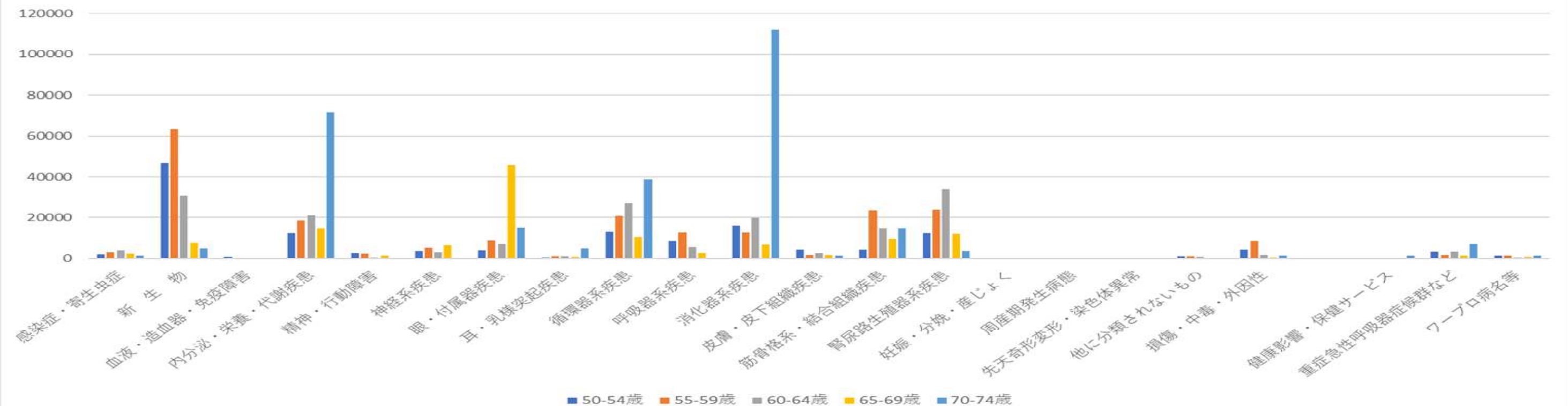
2021年度 年齢階層別医療費（1人当たり）被保険者



2021年度 年齢階層別医療費（1人当たり）被扶養者



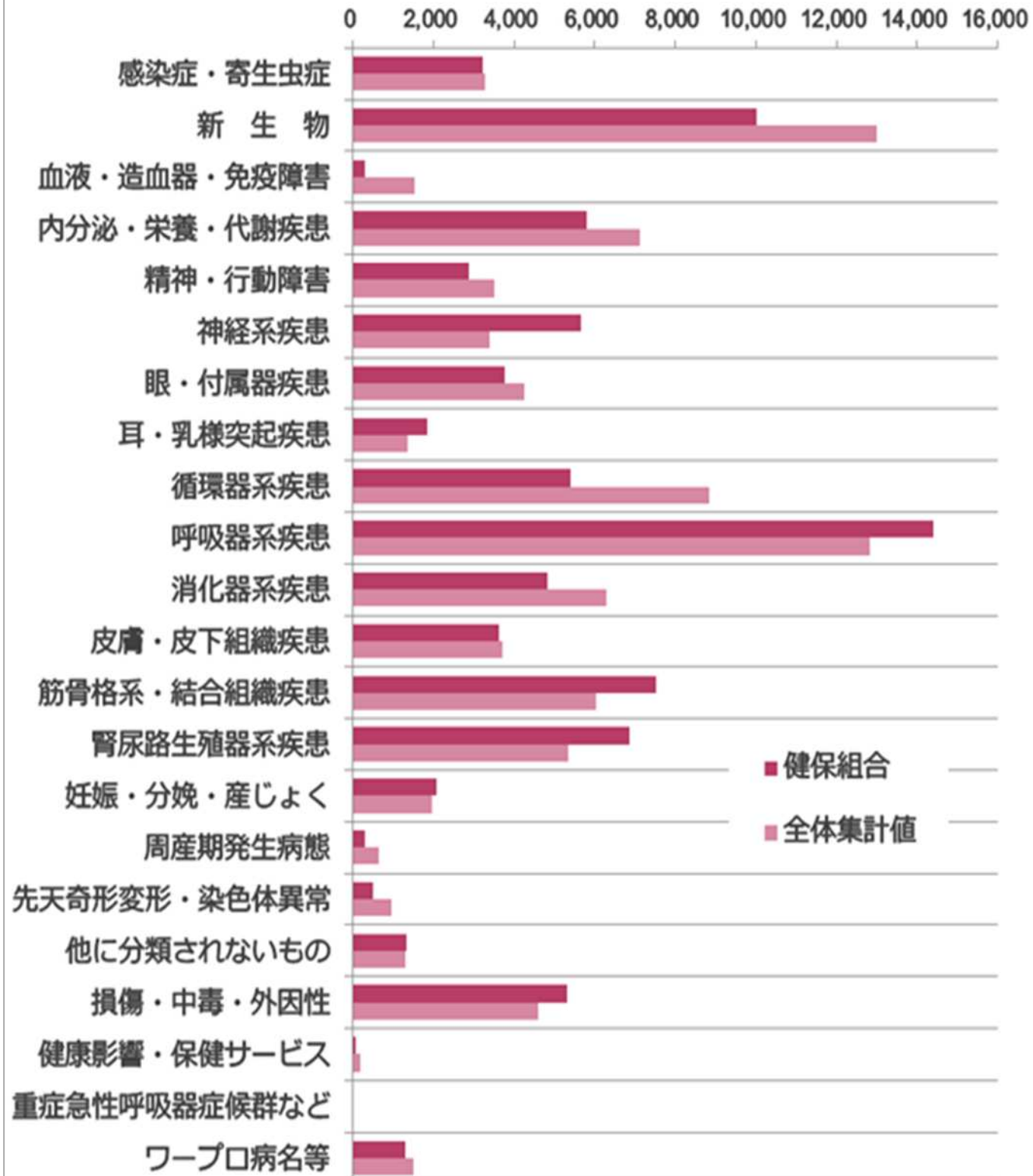
疾病別50歳以上医療費（全体）





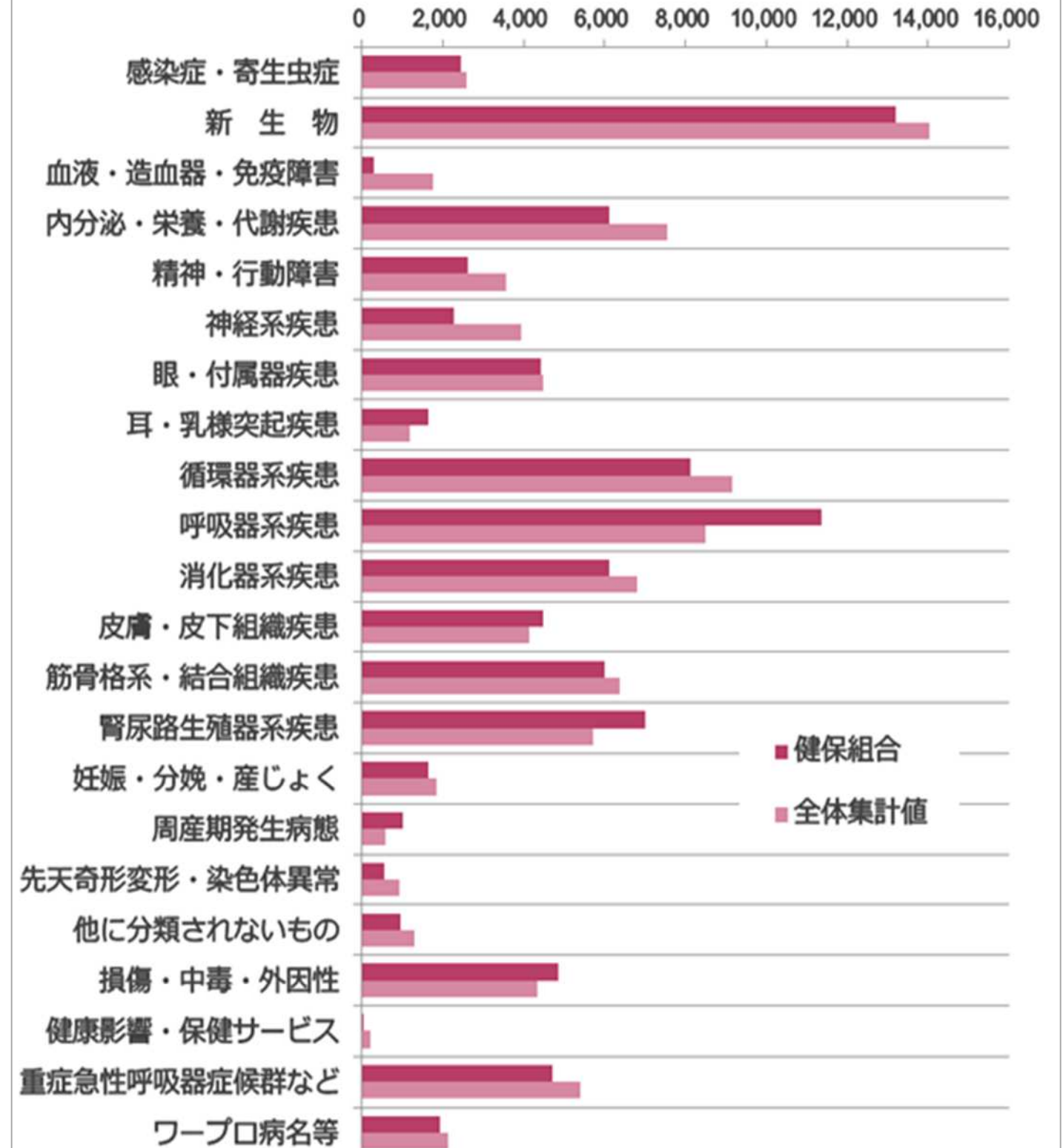
2018年度

疾病19分類別 1人あたり医療費（円）



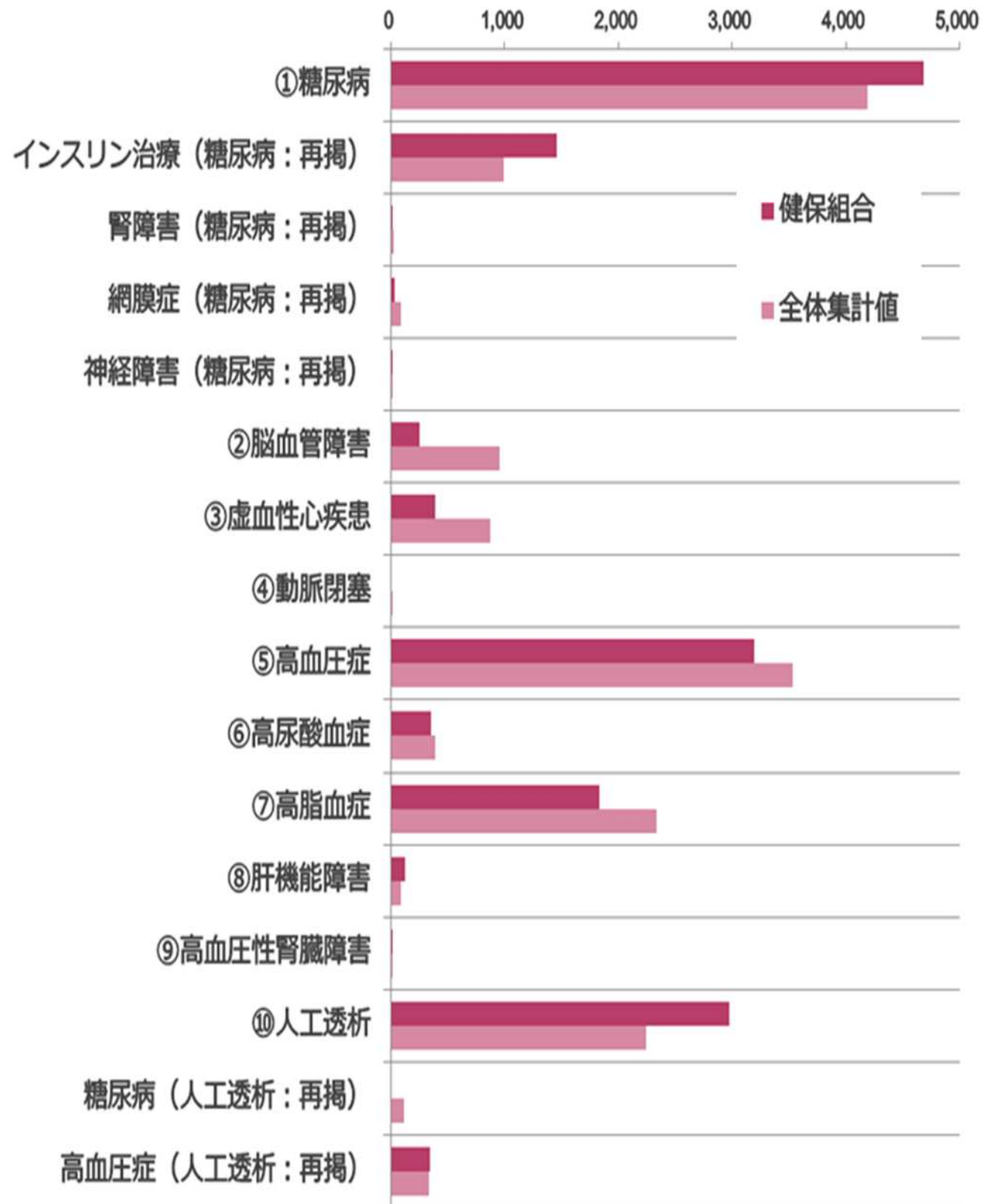
2021年度

疾病19分類別 1人あたり医療費（円）



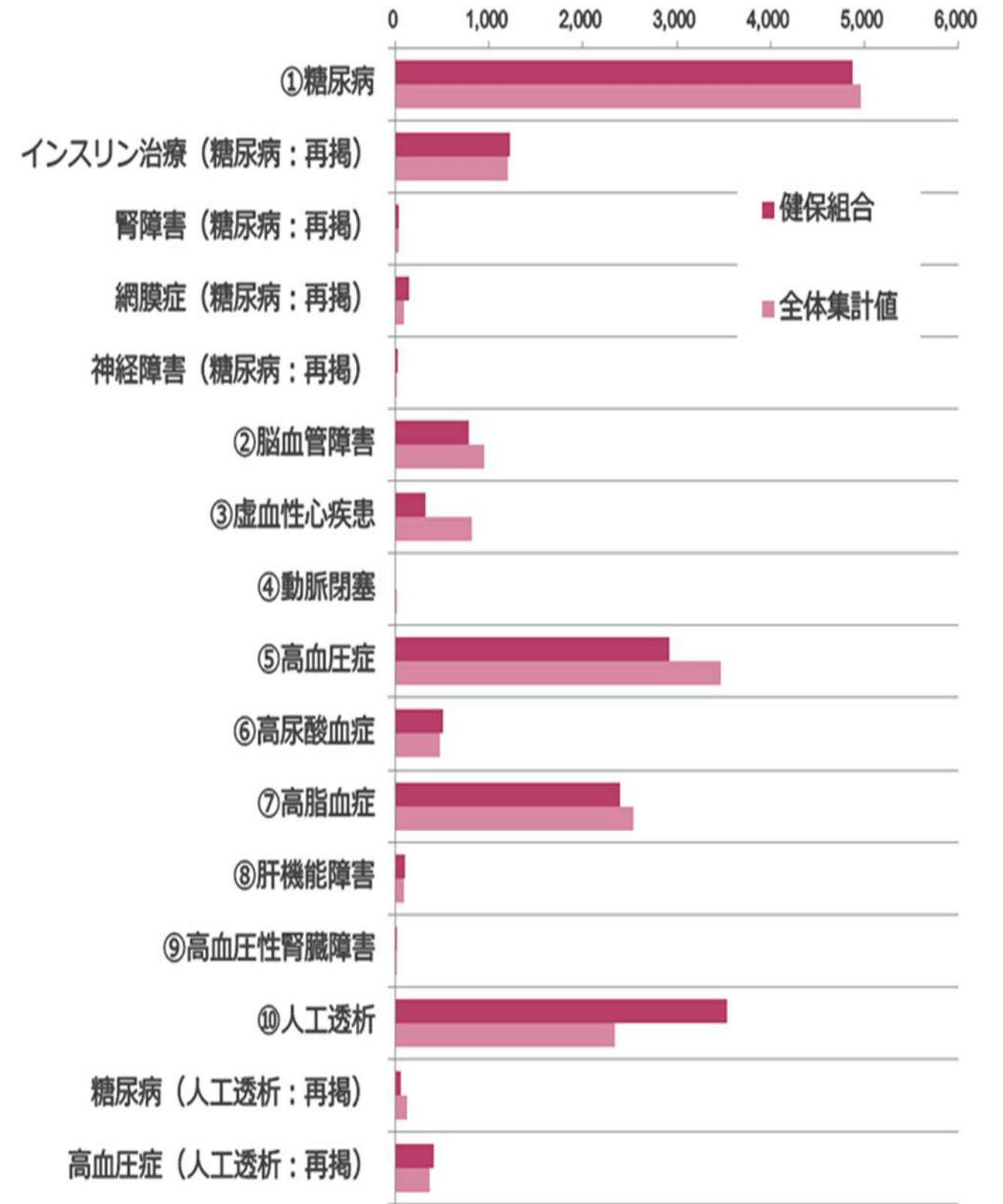
2018年度

生活習慣関連10疾患別 (ICD-10) 1人当たり医療費 (円)

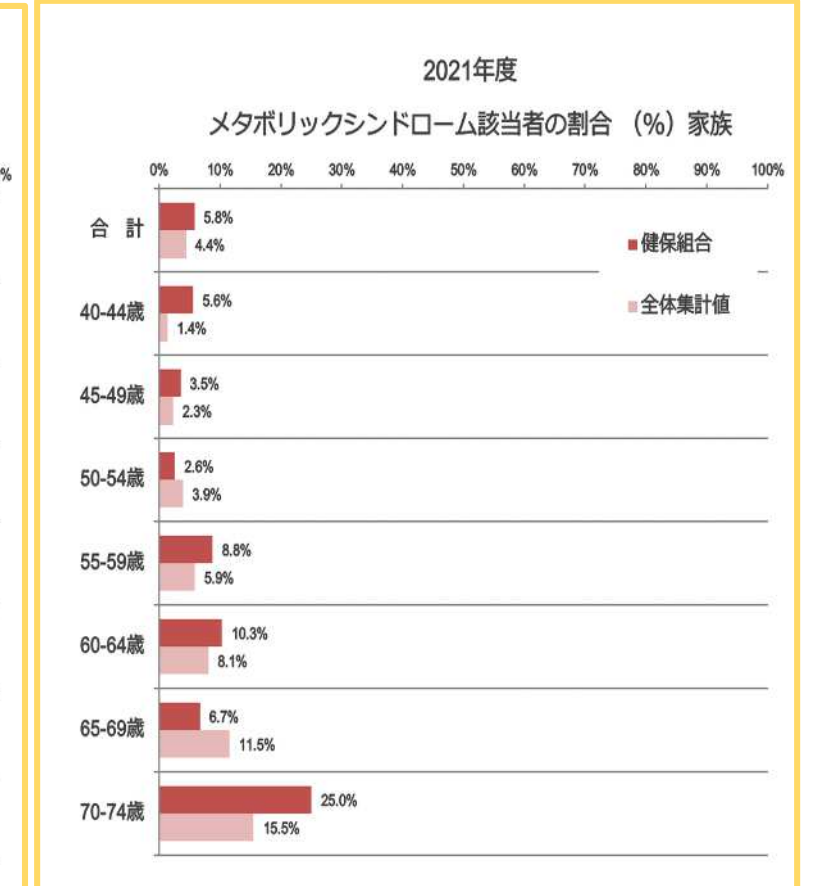
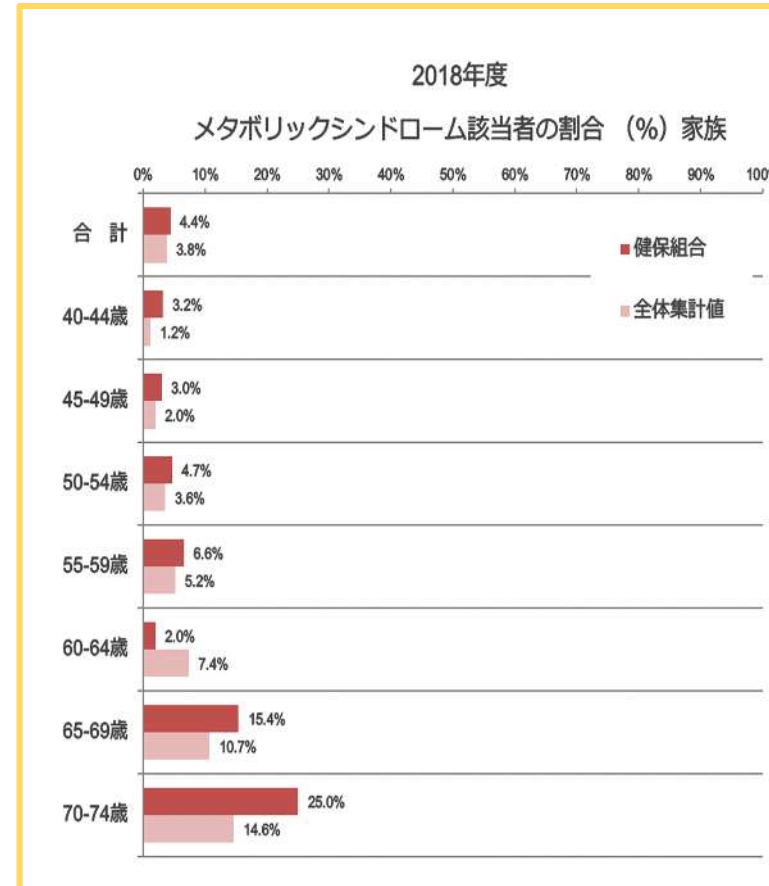
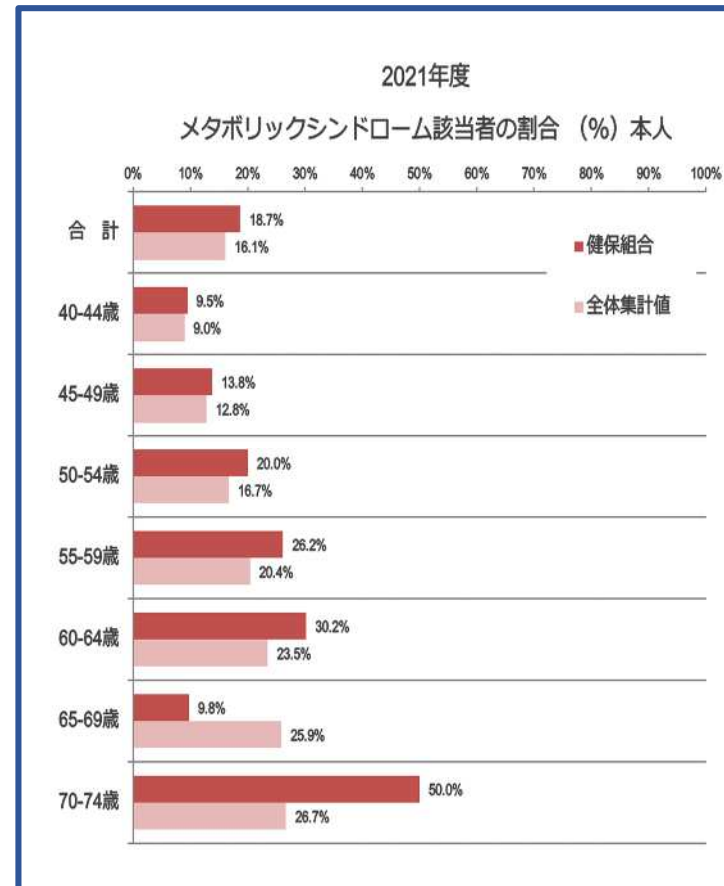
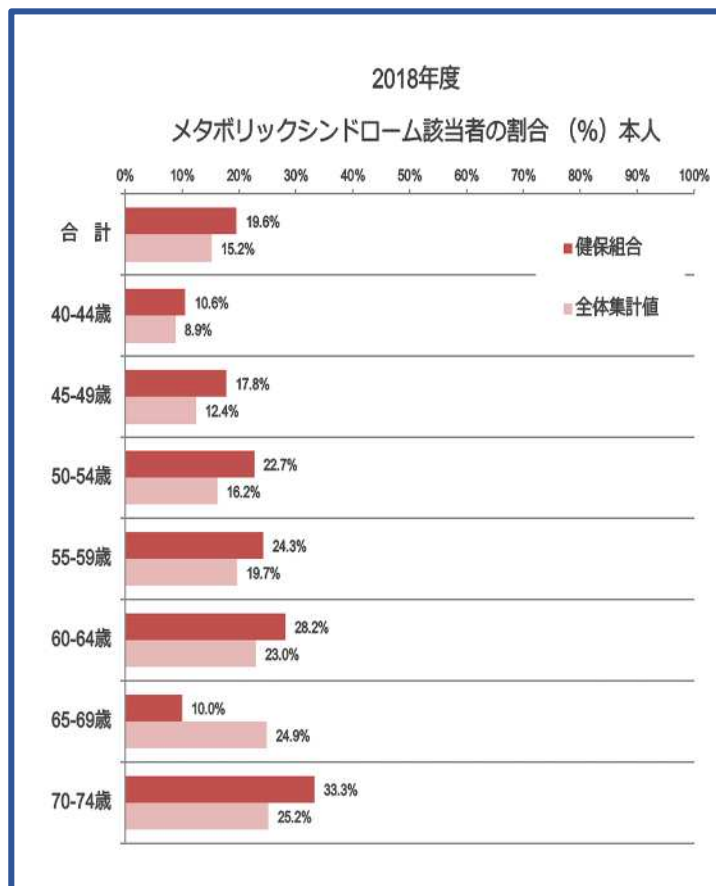
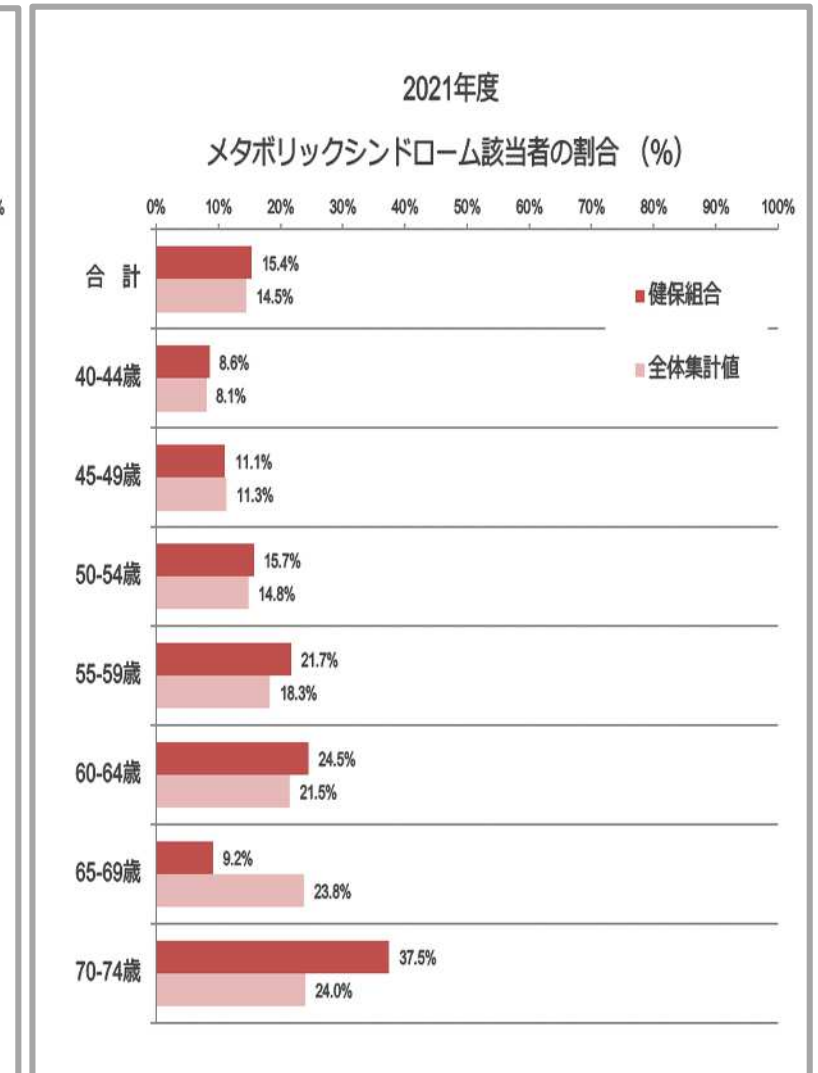
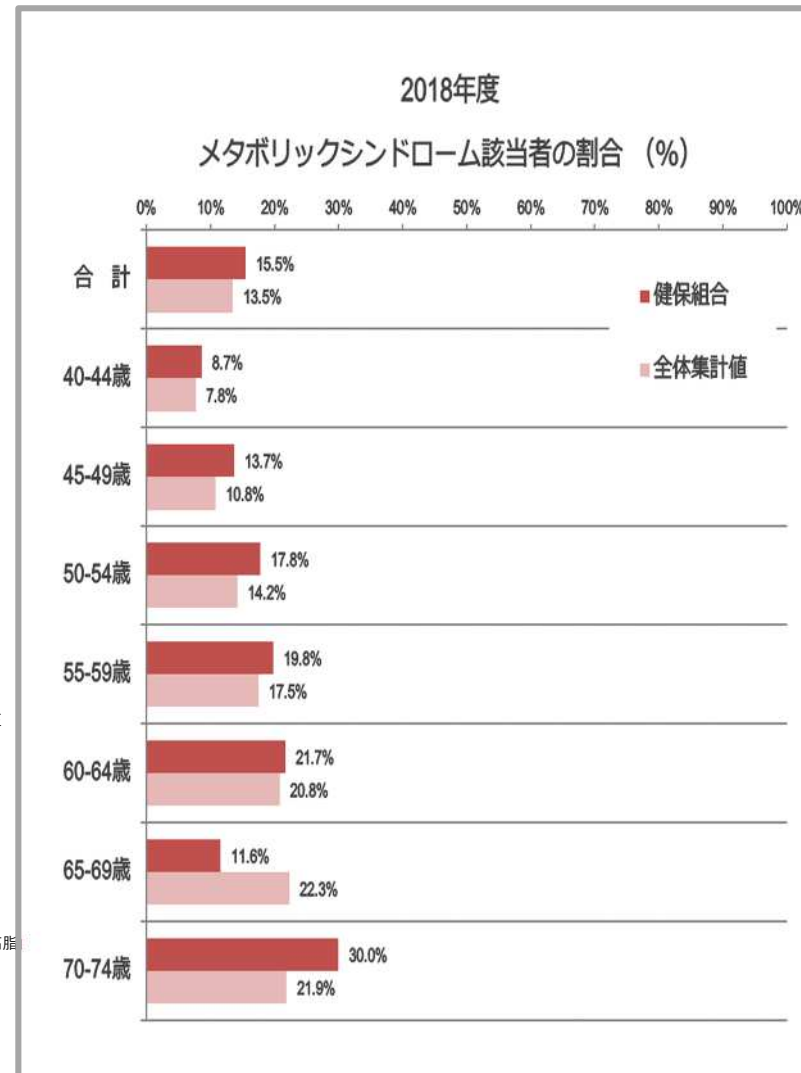
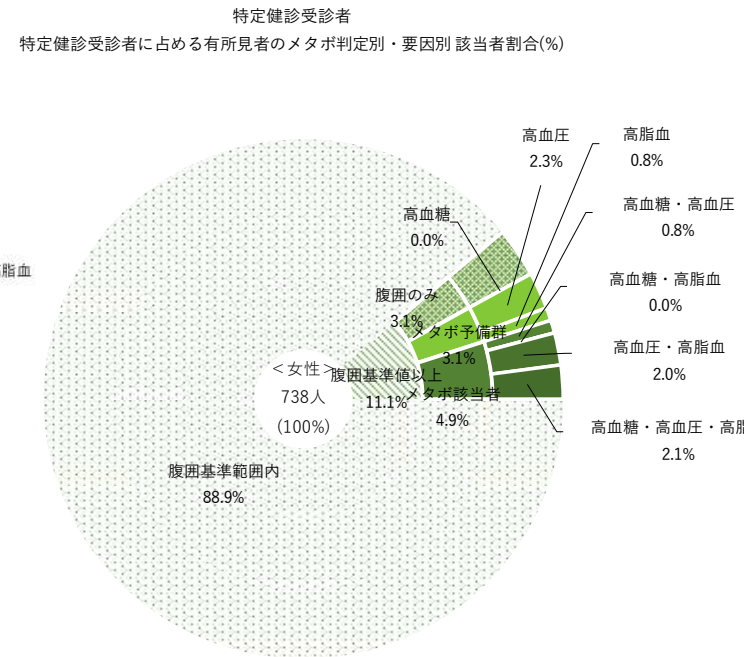
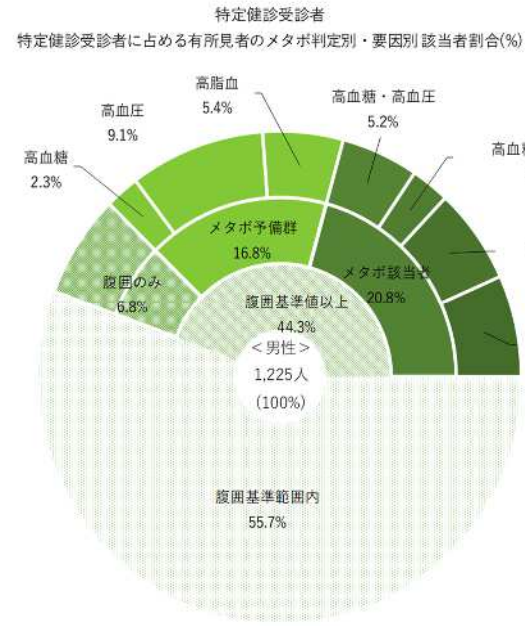
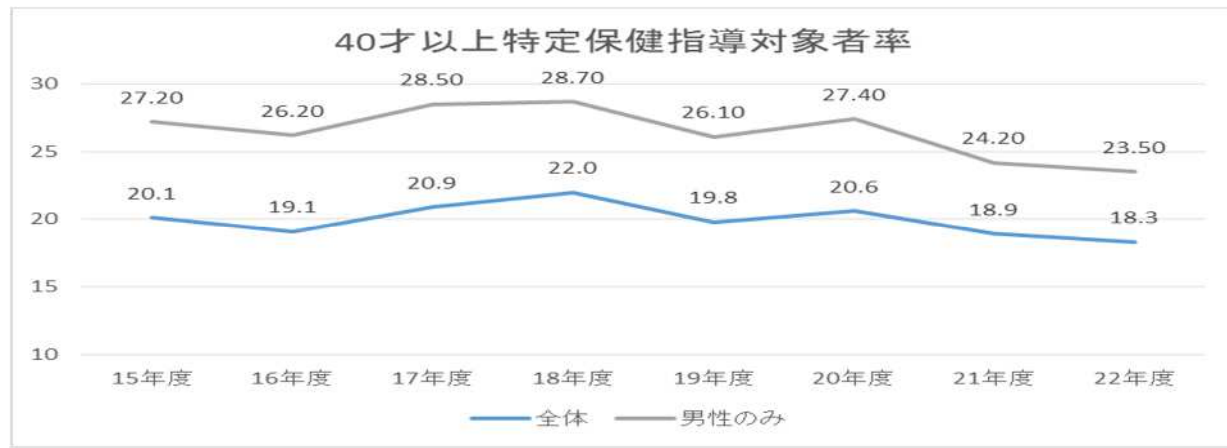


2021年度

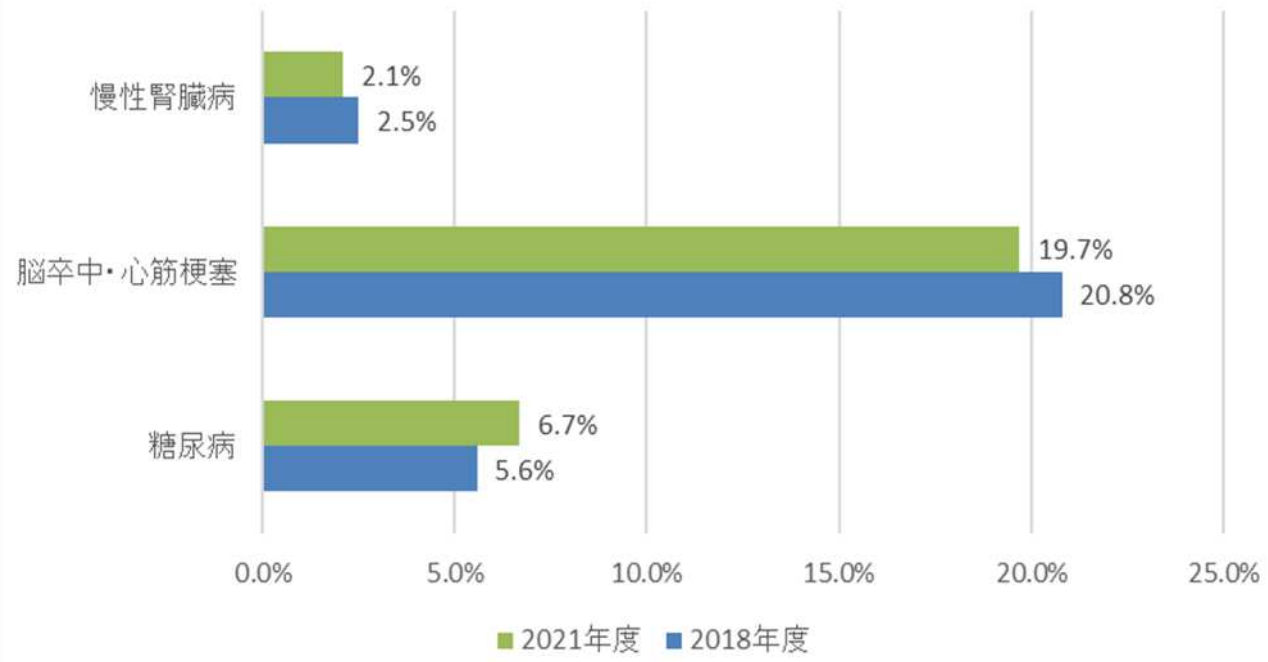
生活習慣関連10疾患別 (ICD-10) 1人当たり医療費 (円)



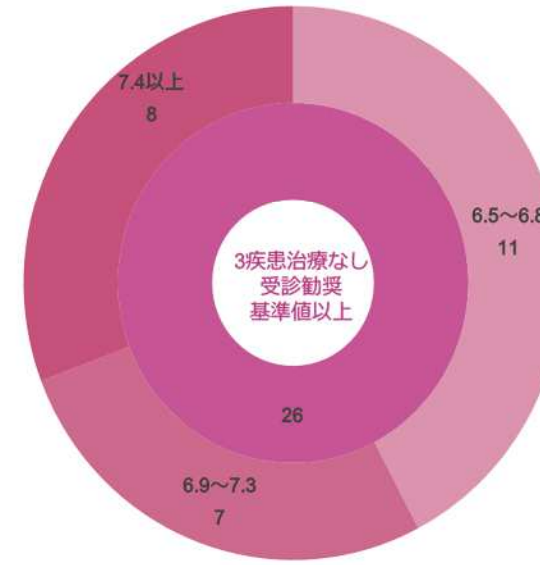




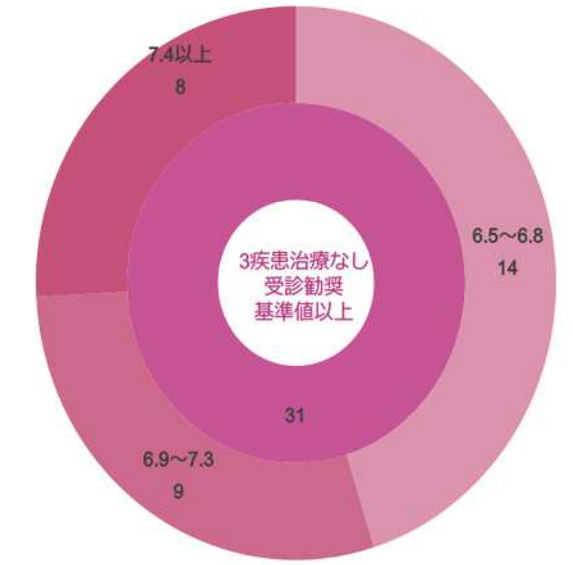
## 受診勧奨者割合



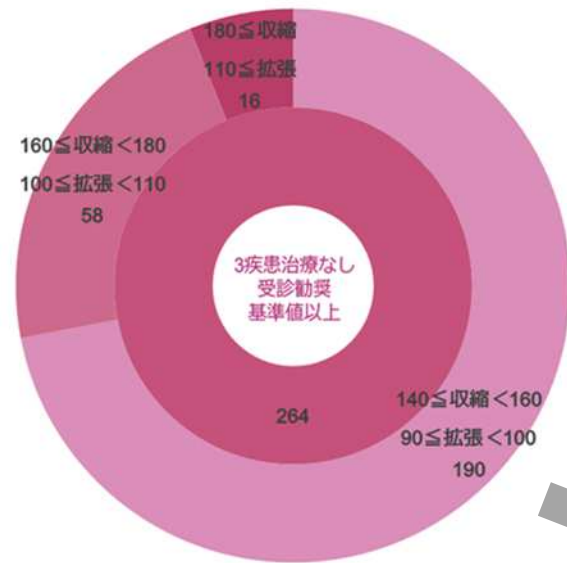
2018年度  
3疾患未治療の該当者のうち  
HbA1c受診勧奨基準値以上該当者の判定区分別内訳 (人)



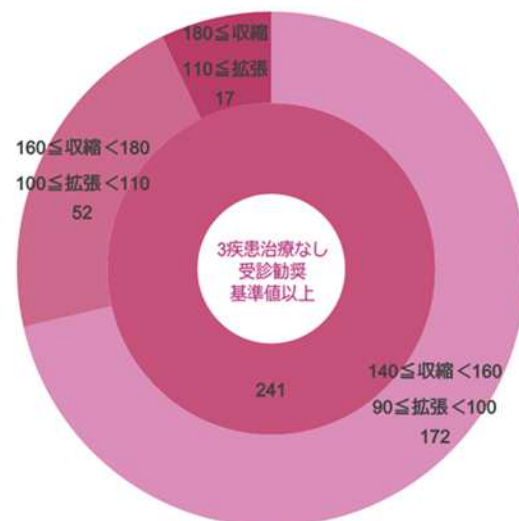
2021年度  
3疾患未治療の該当者のうち  
HbA1c受診勧奨基準値以上該当者の判定区分別内訳 (人)



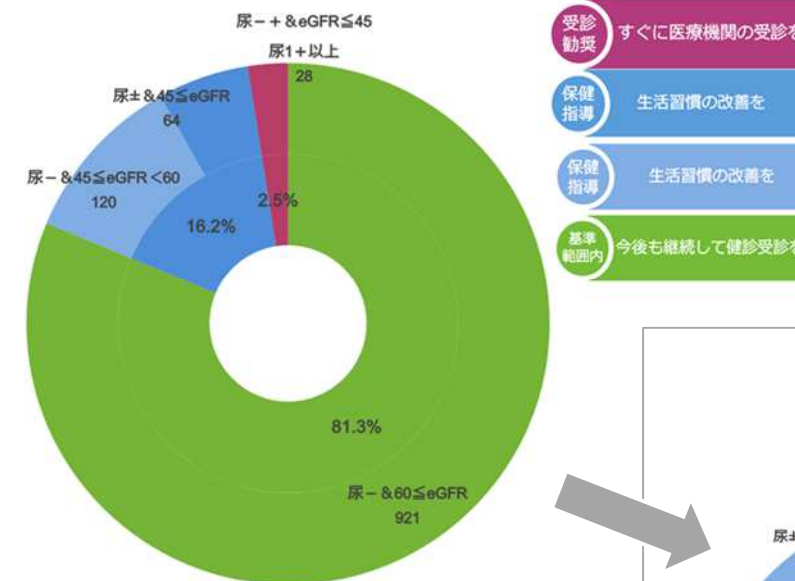
2018年度  
3疾患未治療の該当者のうち  
血圧受診勧奨基準値以上該当者の判定区分別内訳 (人)



2021年度  
3疾患未治療の該当者のうち  
血圧受診勧奨基準値以上該当者の判定区分別内訳 (人)

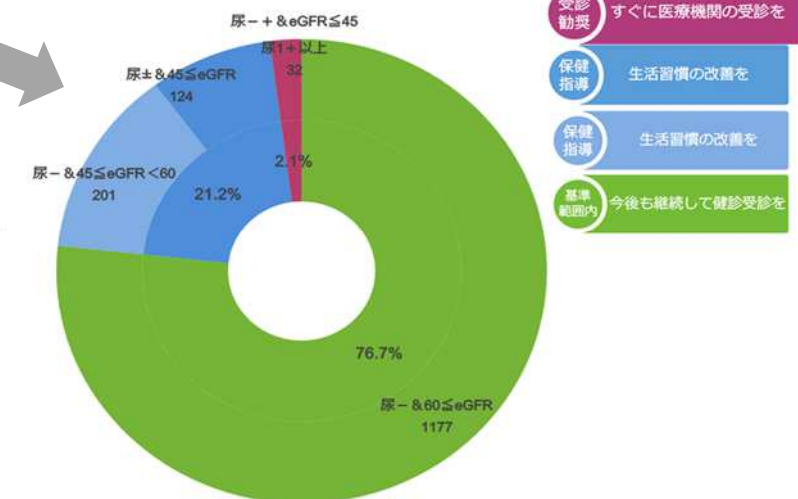


2018年度  
尿蛋白及び血清クレアチニン判定区分別該当者数 (人)



- 受診勧奨: すぐに医療機関の受診を
- 保健指導: 生活習慣の改善を
- 保健指導: 生活習慣の改善を
- 基準範囲内: 今後も継続して健診受診を

2021年度  
尿蛋白及び血清クレアチニン判定区分別該当者数 (人)

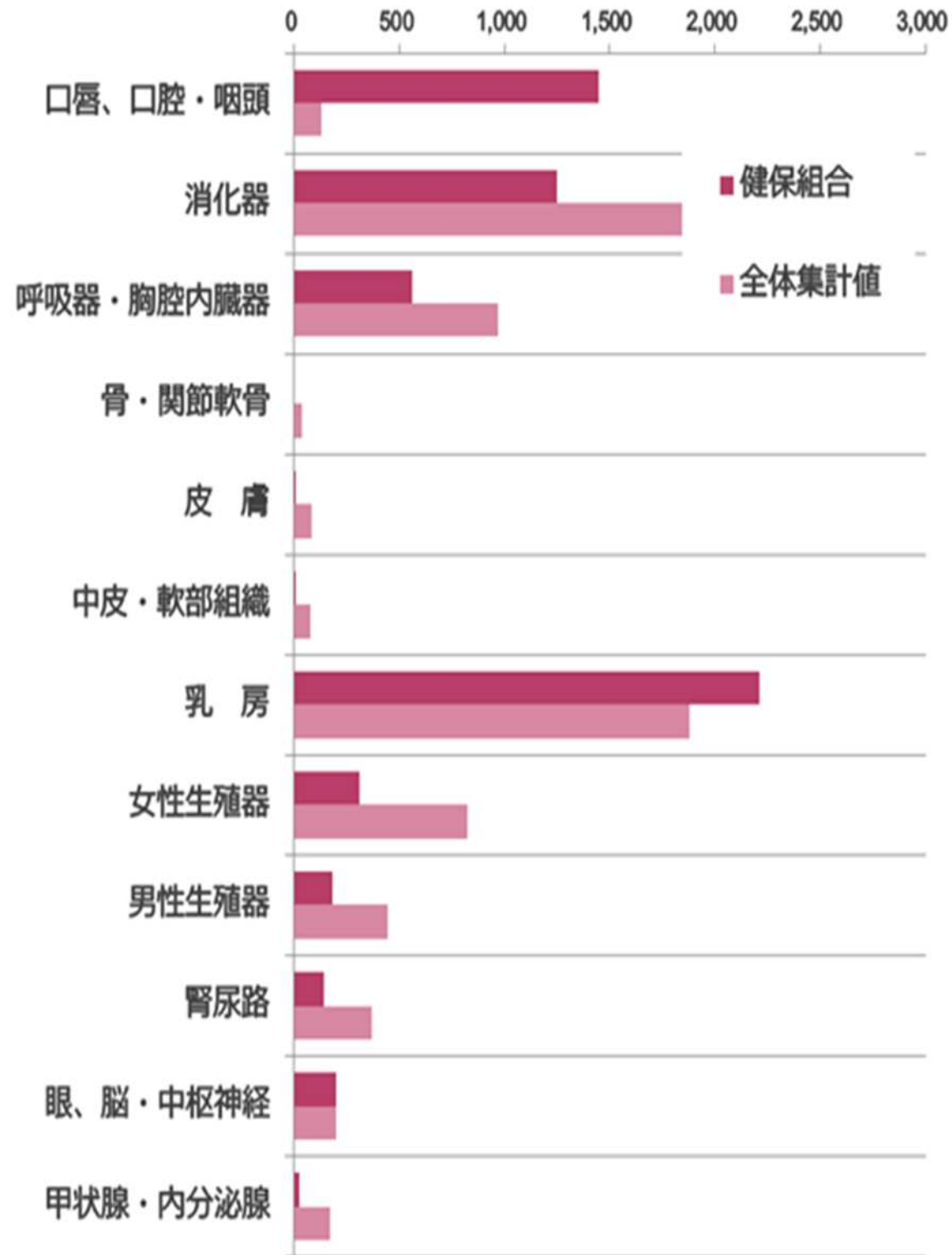


- 受診勧奨: すぐに医療機関の受診を
- 保健指導: 生活習慣の改善を
- 保健指導: 生活習慣の改善を
- 基準範囲内: 今後も継続して健診受診を



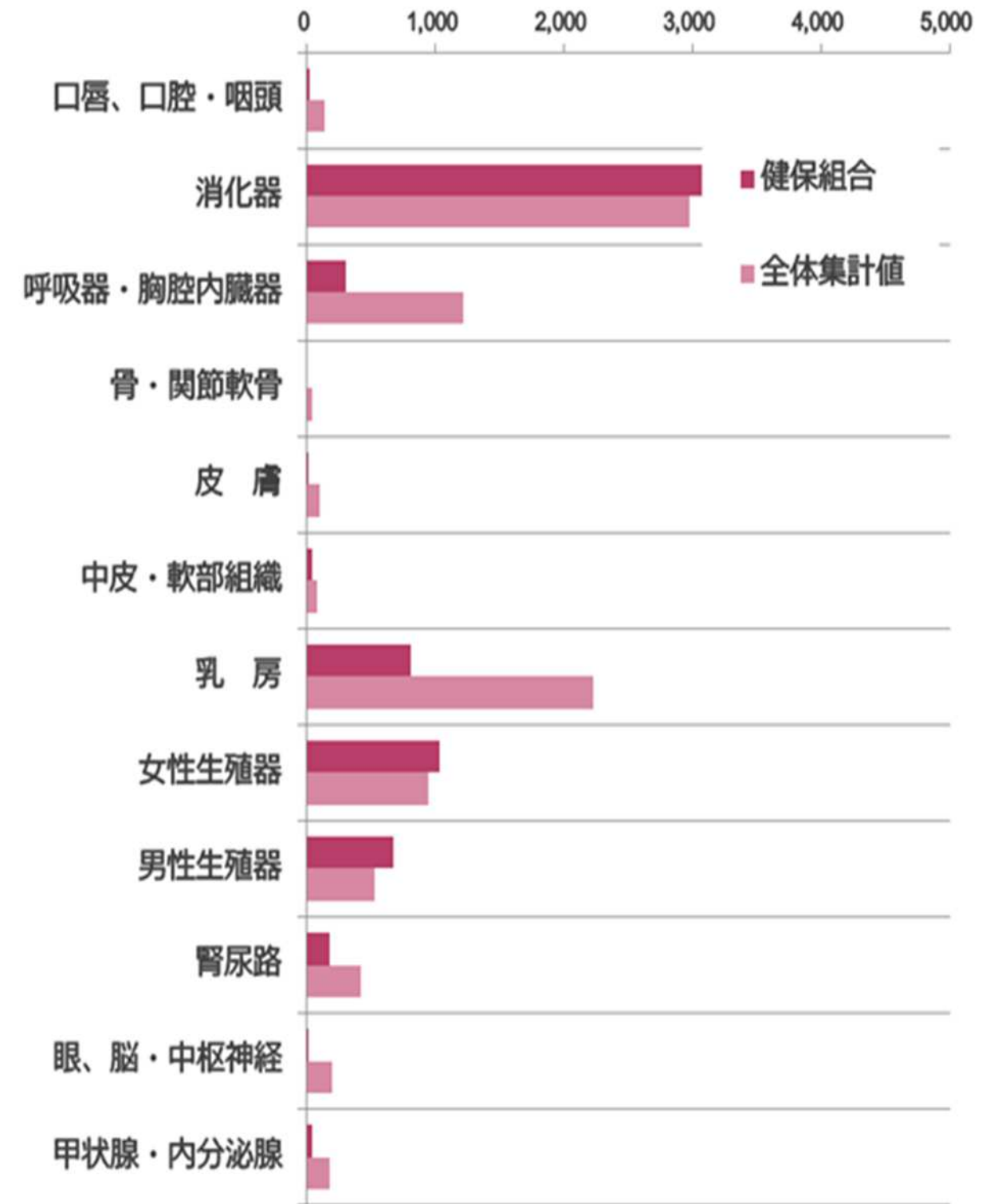
2018年度

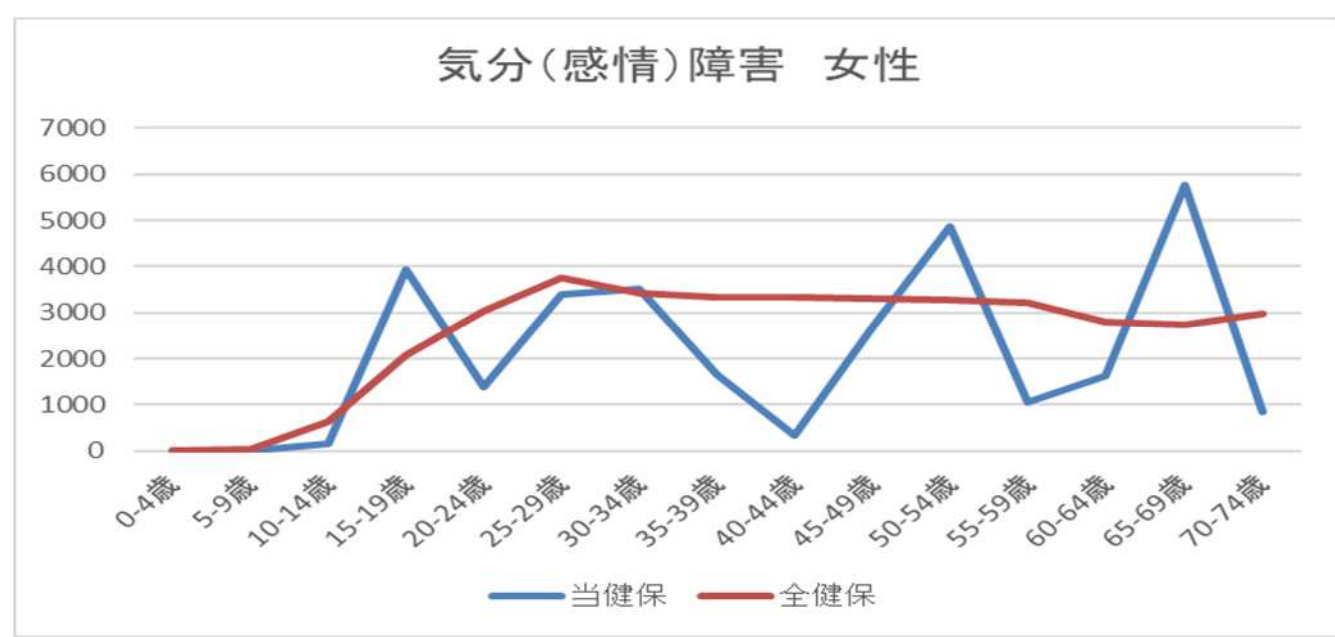
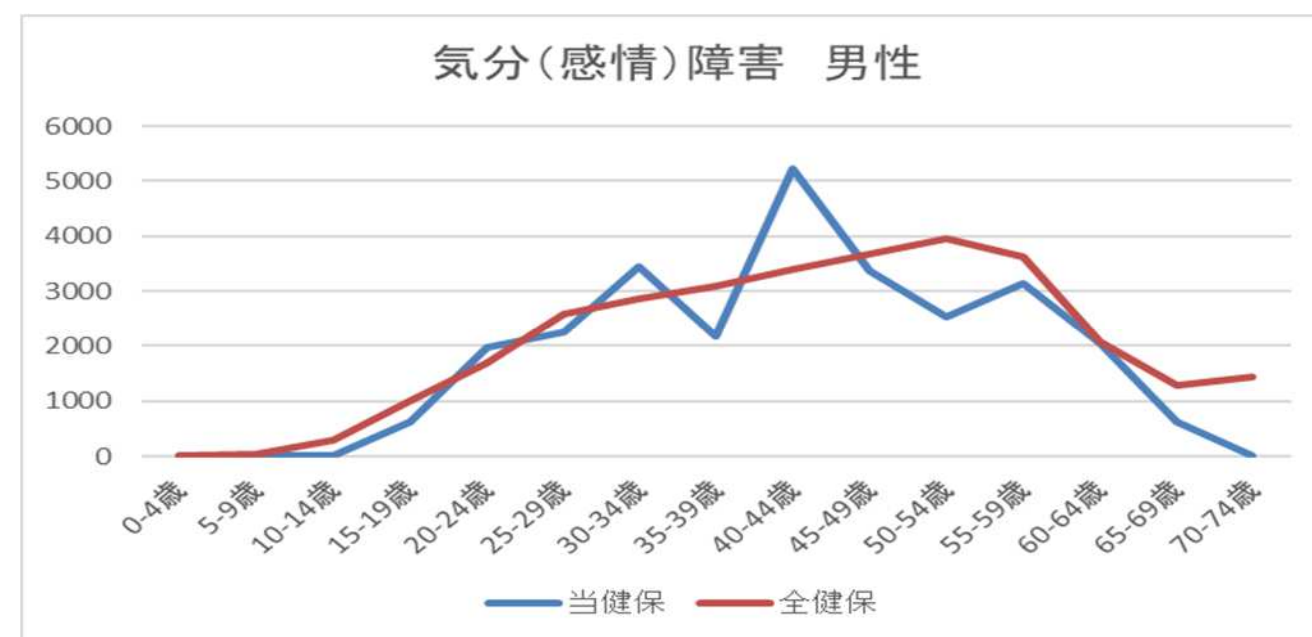
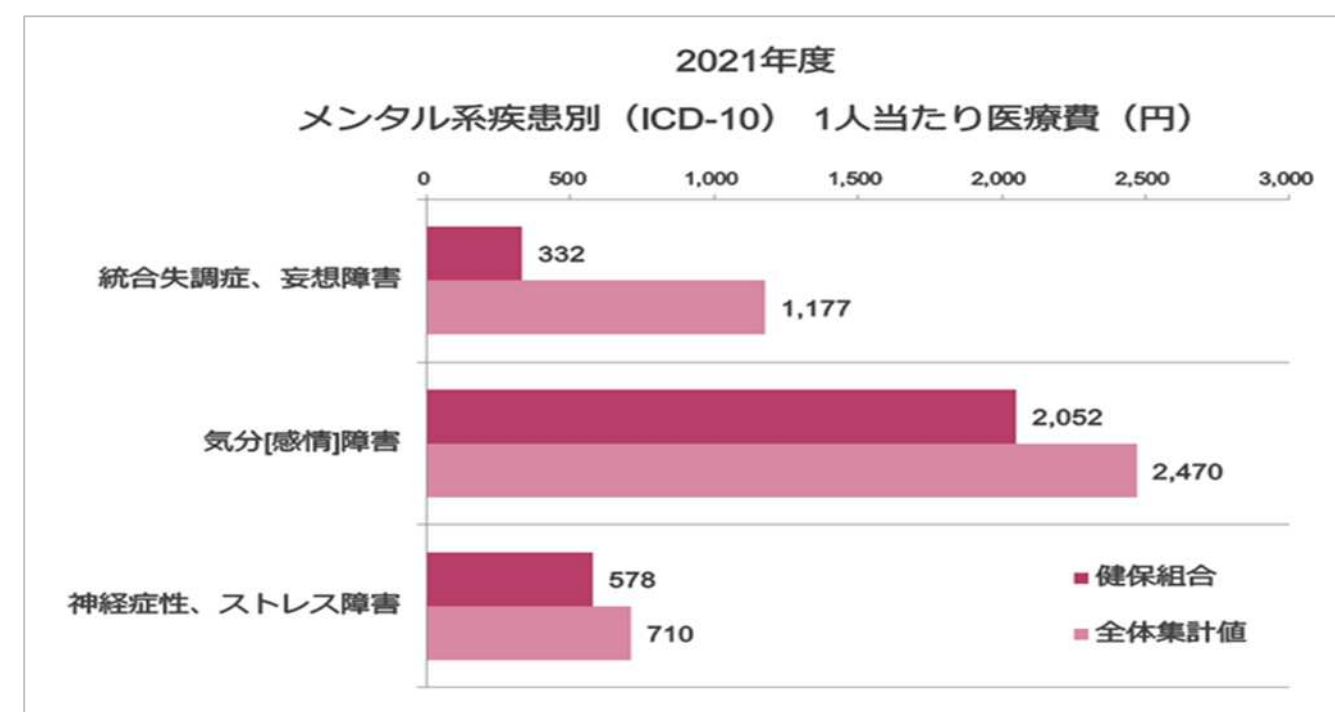
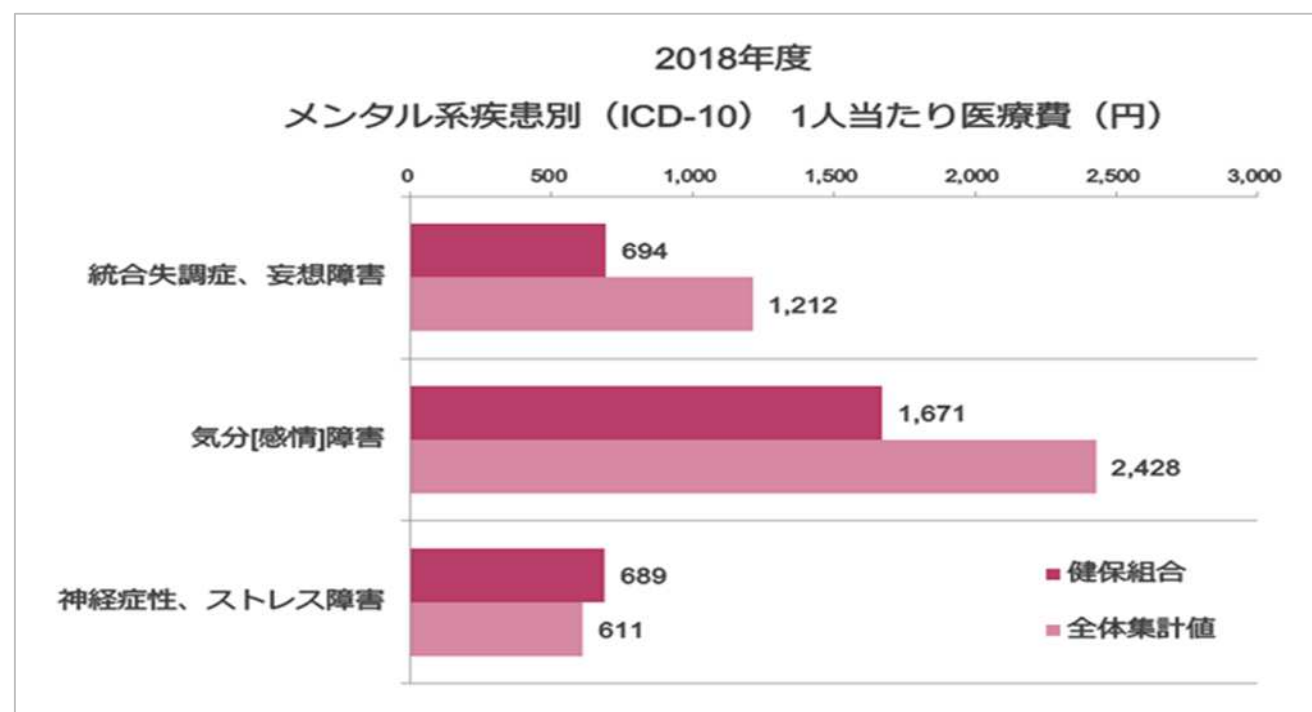
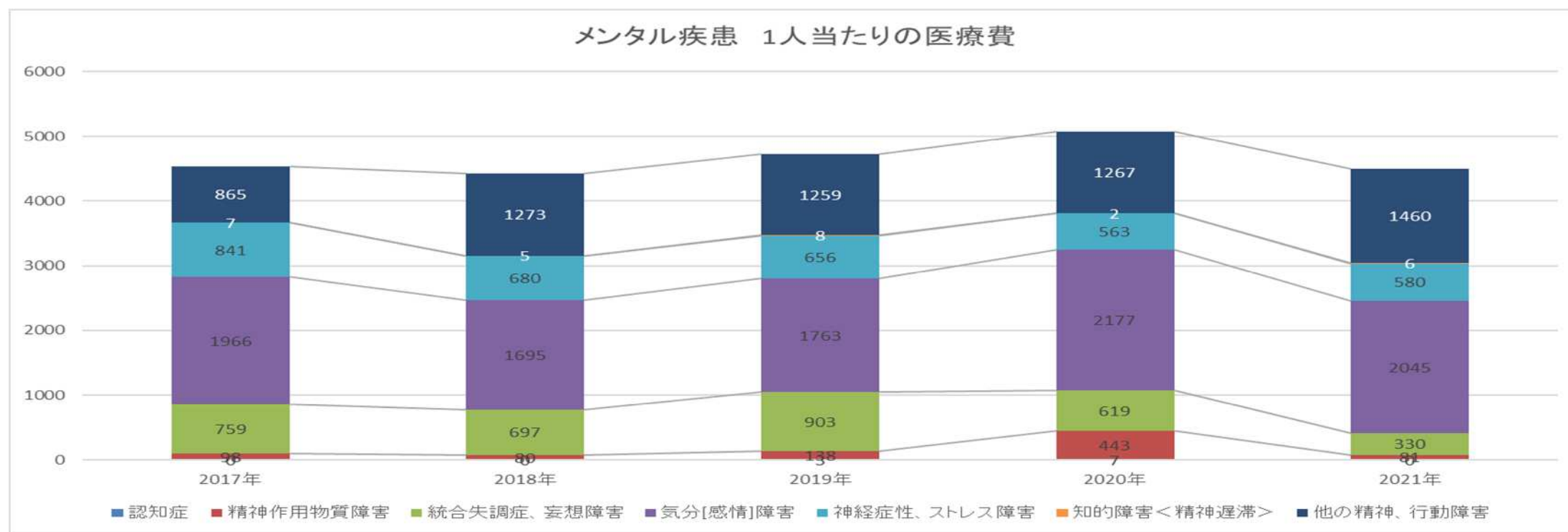
新生物疾患別（119分類）1人当たり医療費（円）

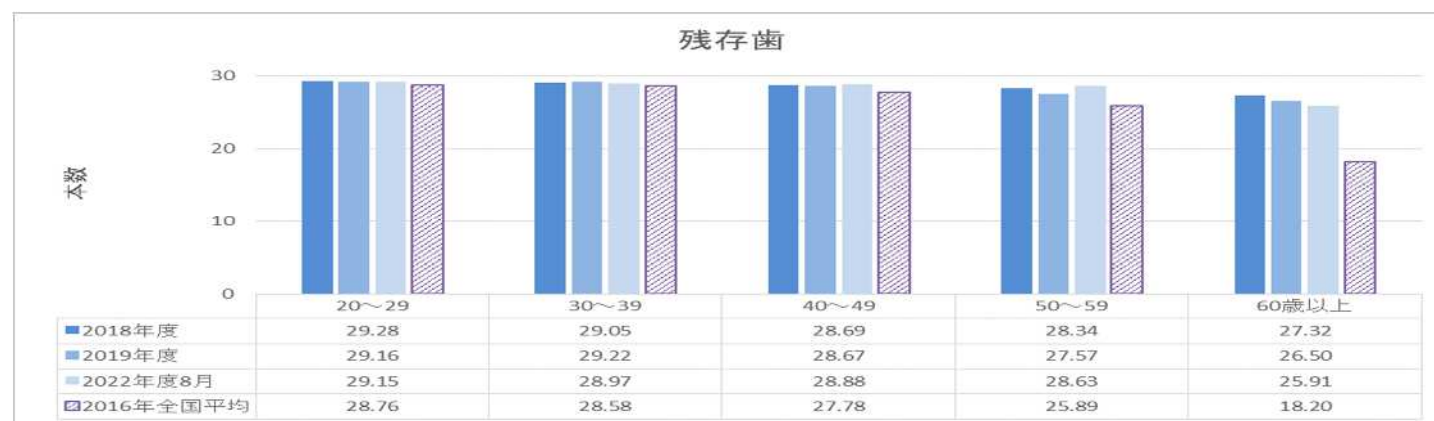
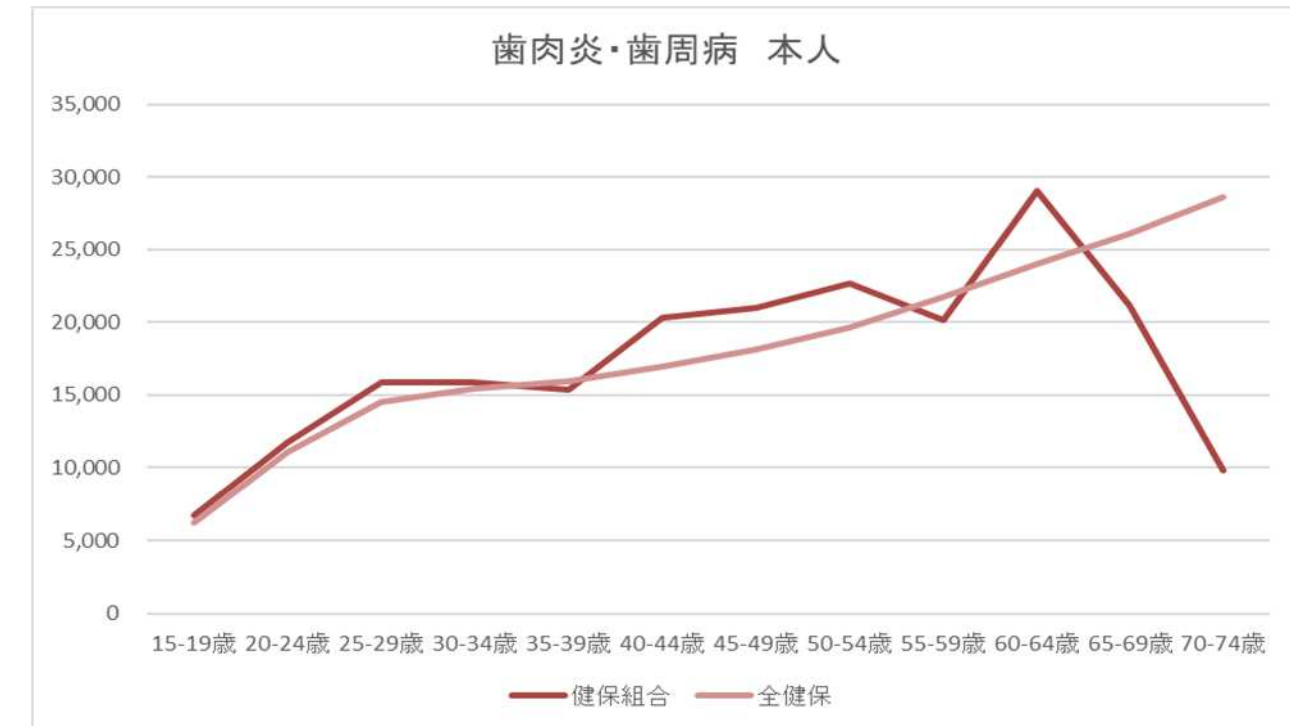
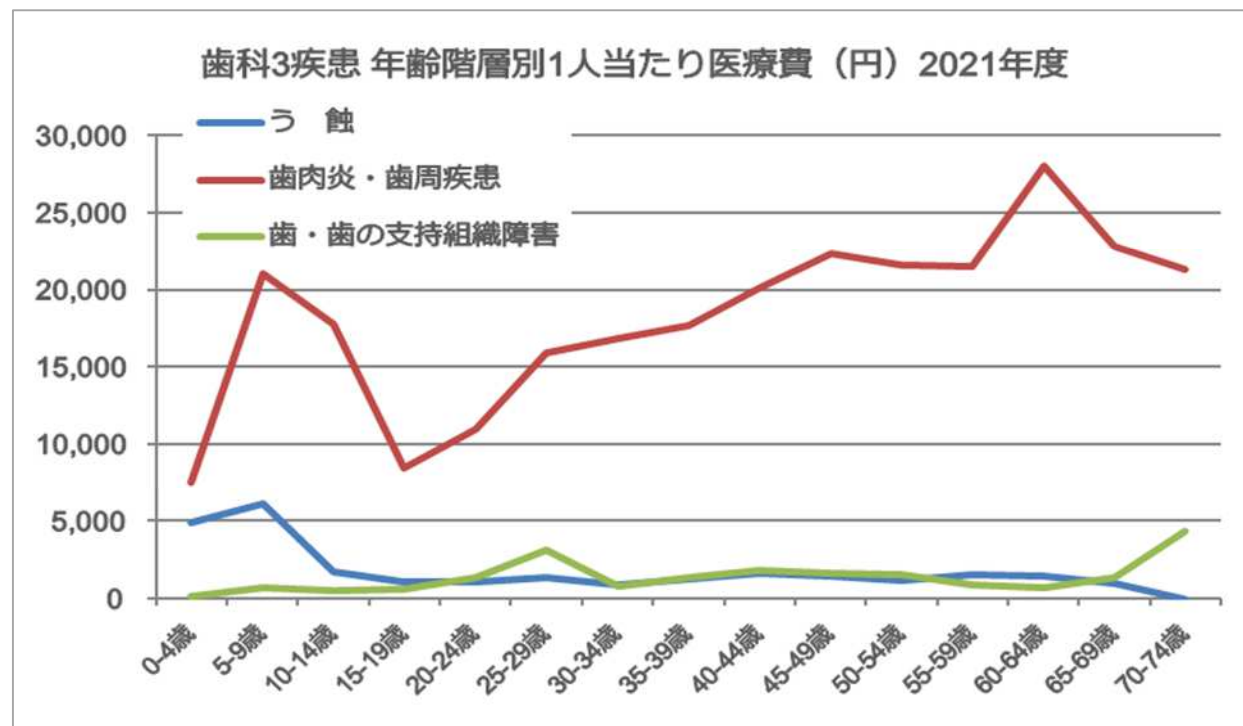
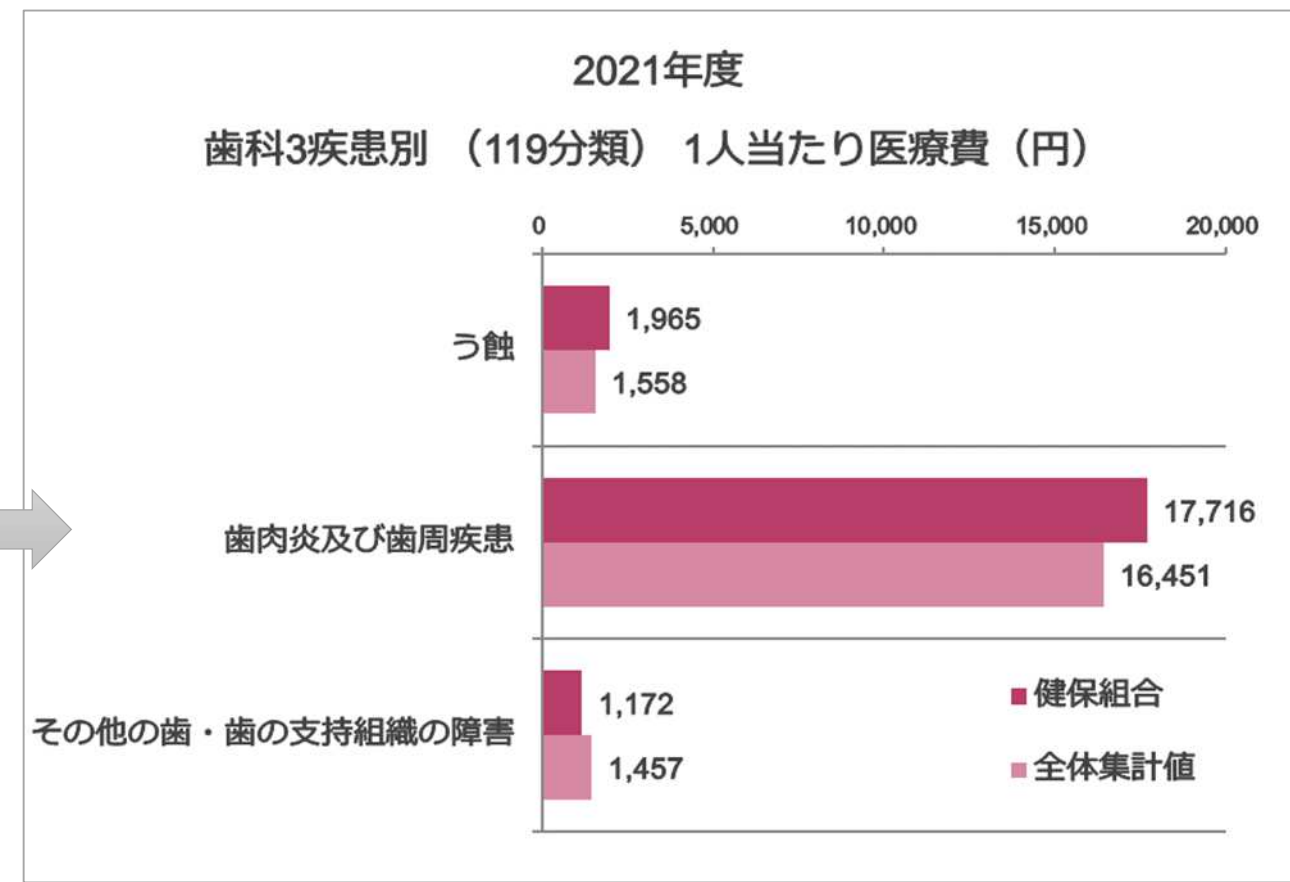
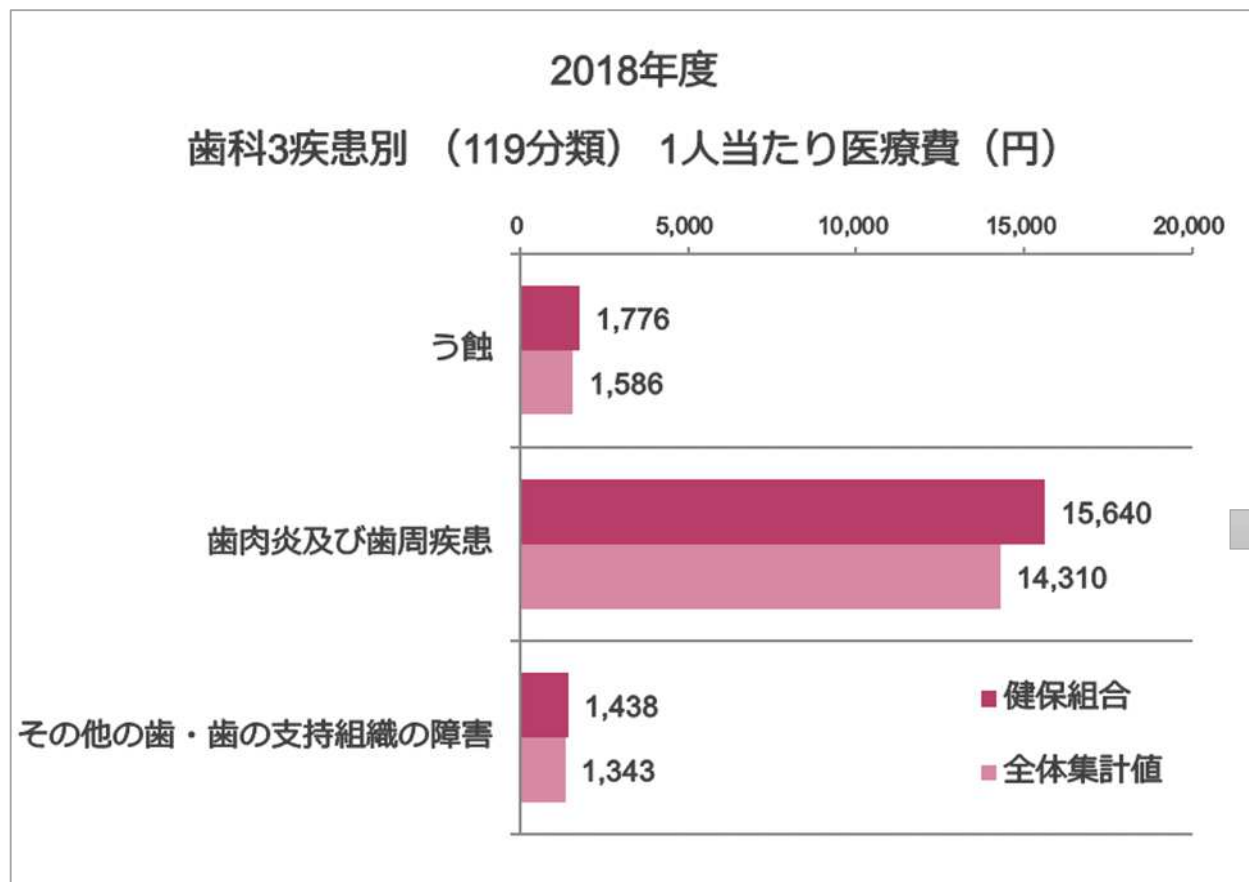


2021年度

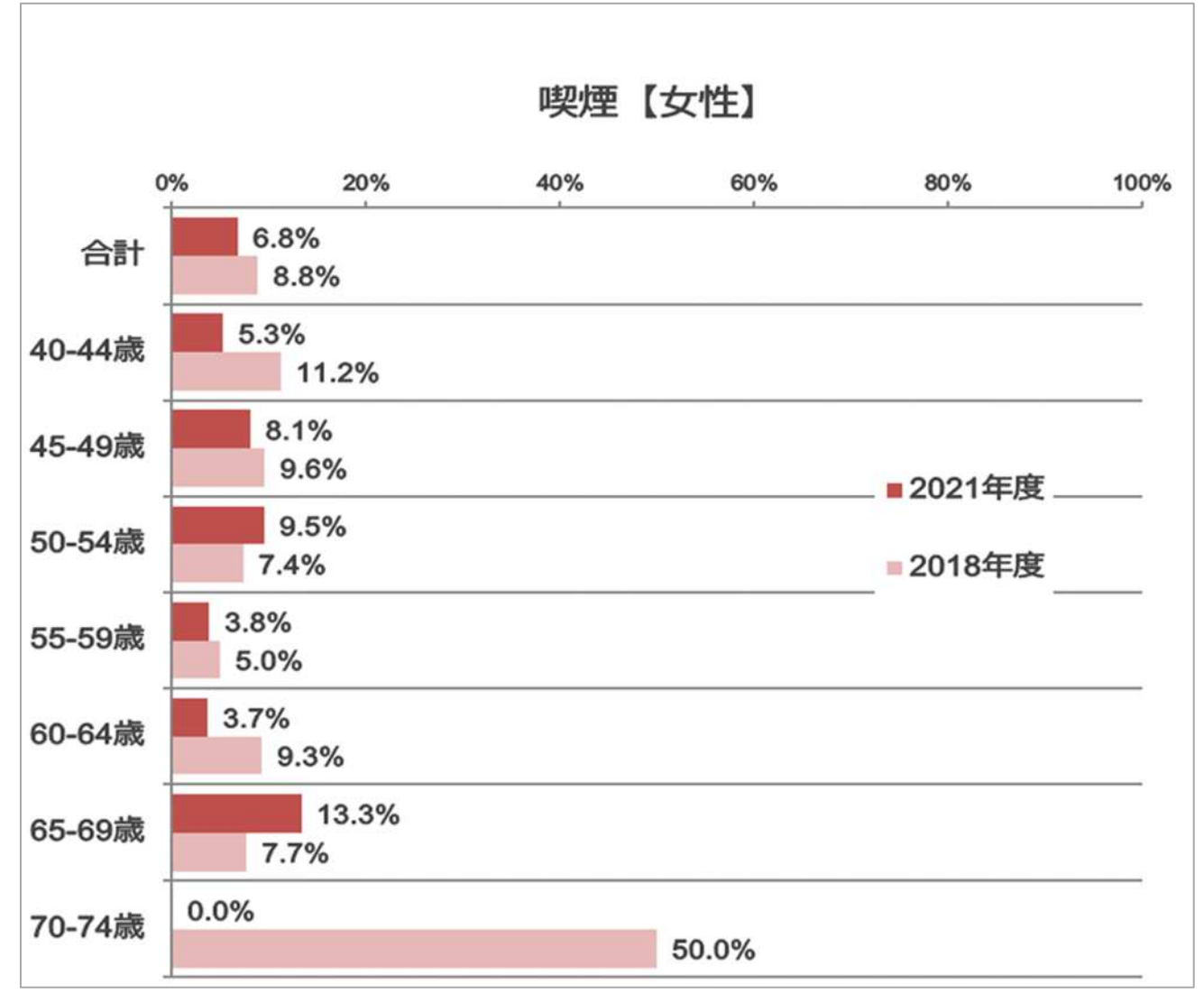
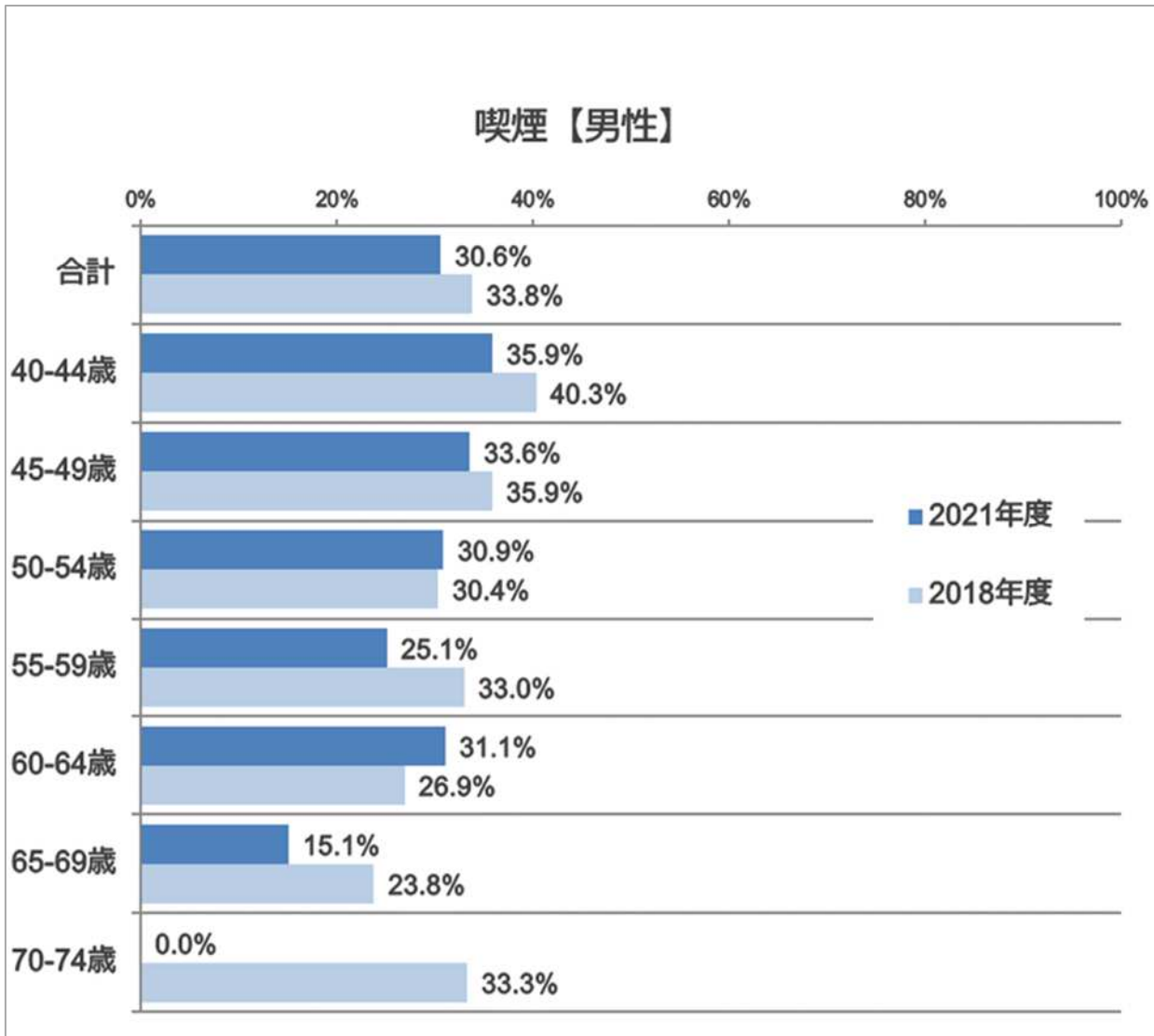
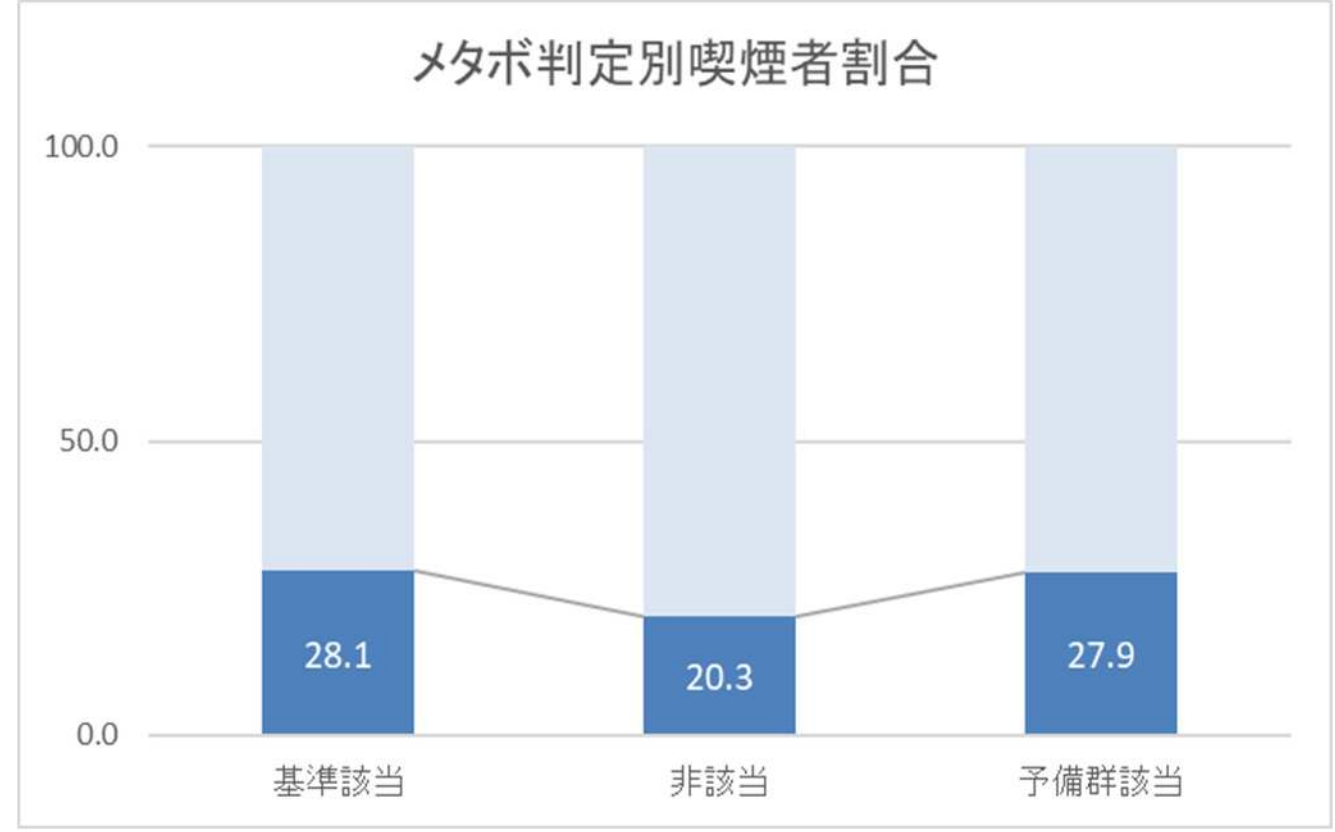
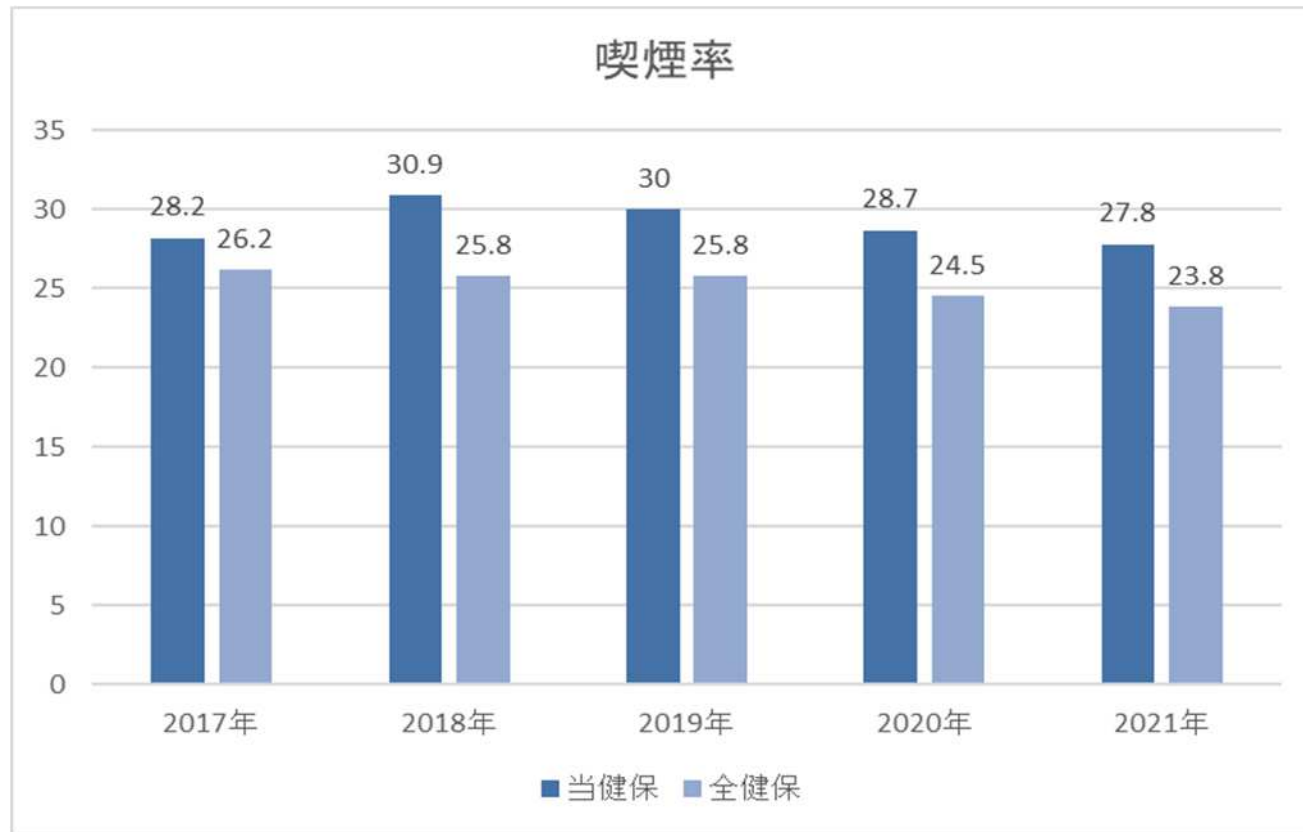
新生物疾患別（119分類）1人当たり医療費（円）

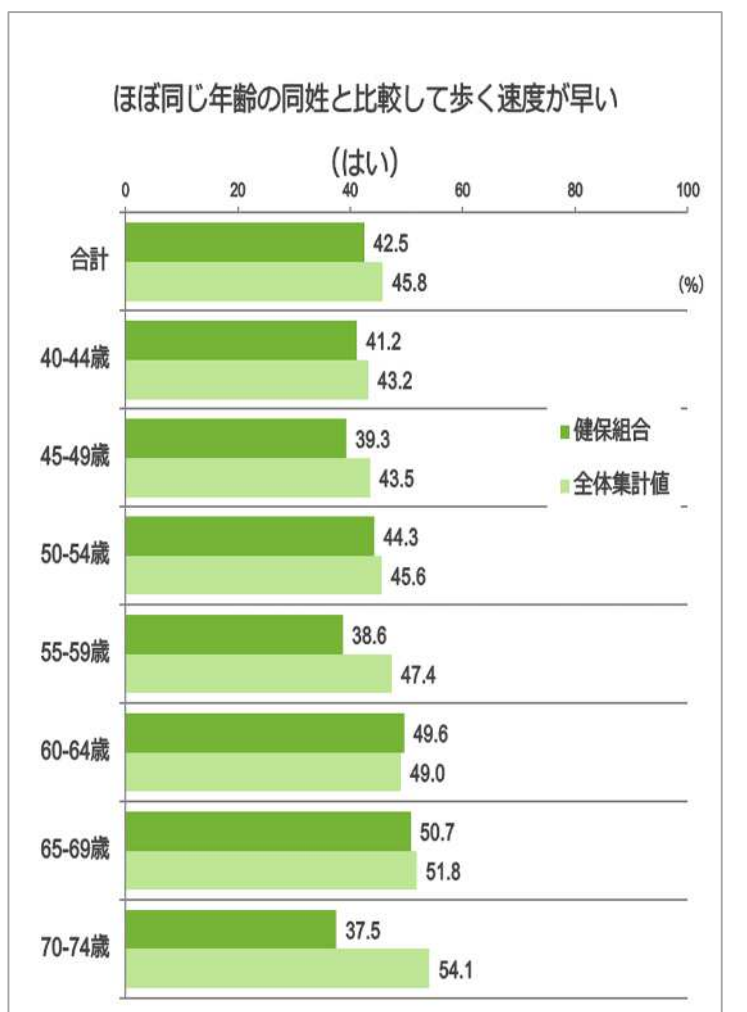
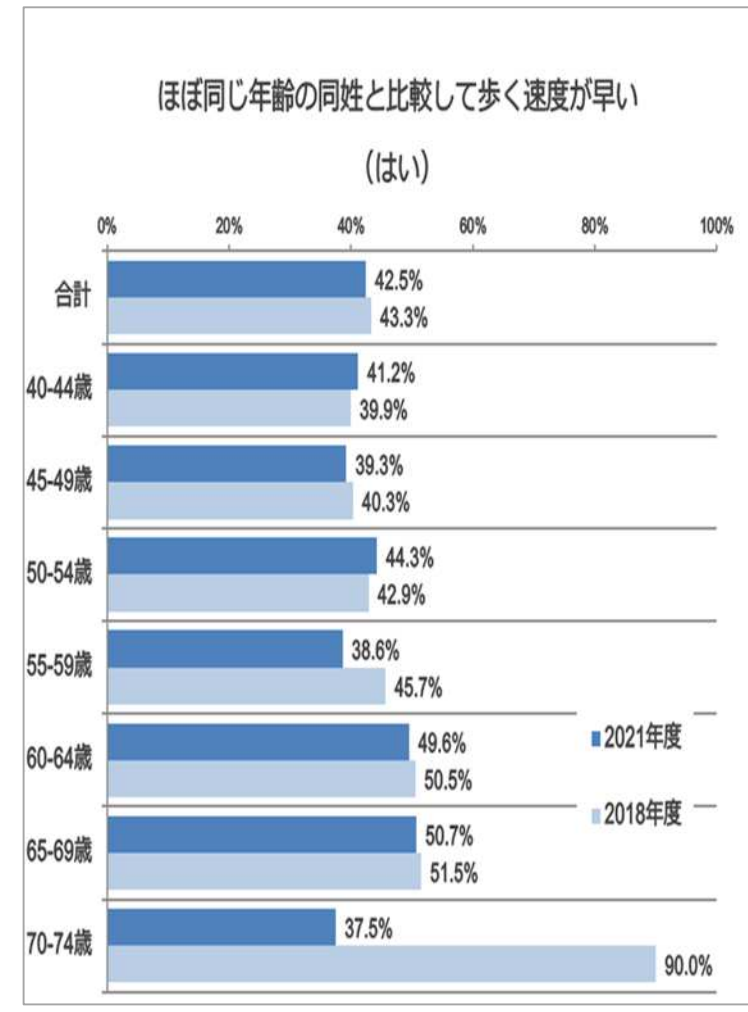
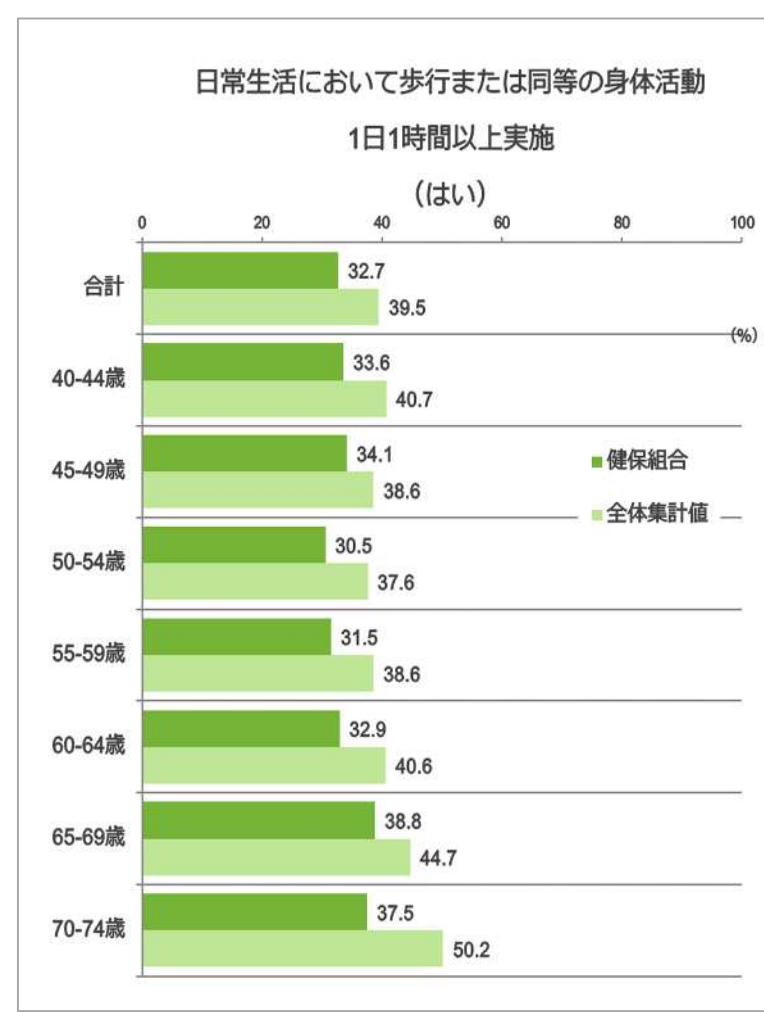
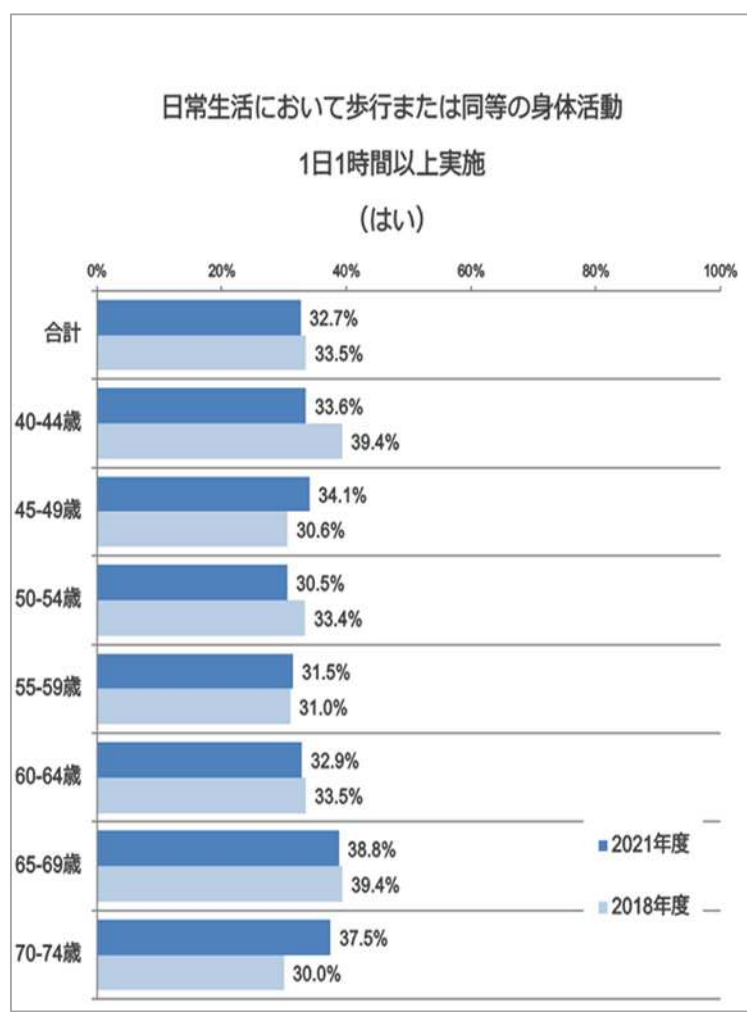
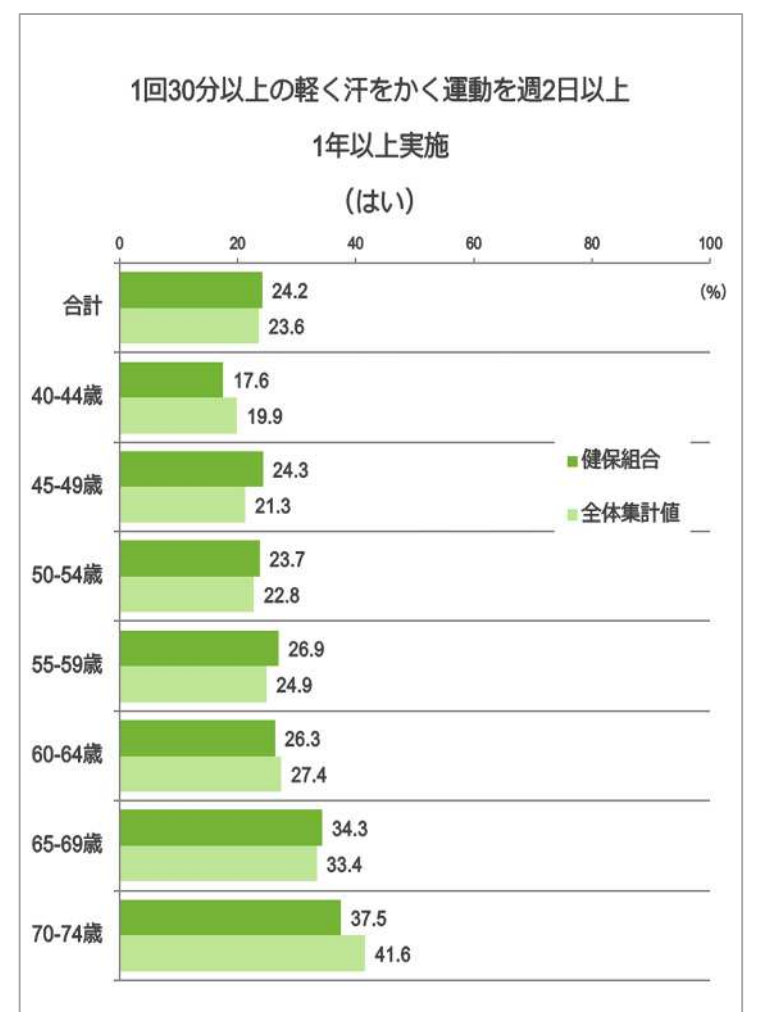
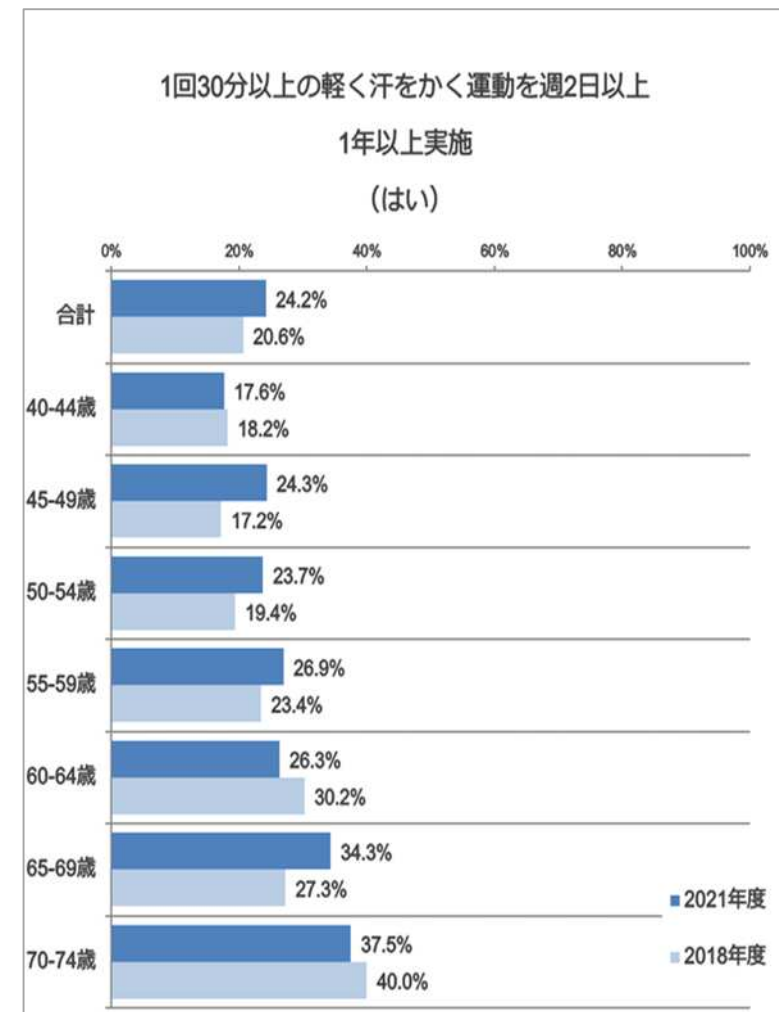
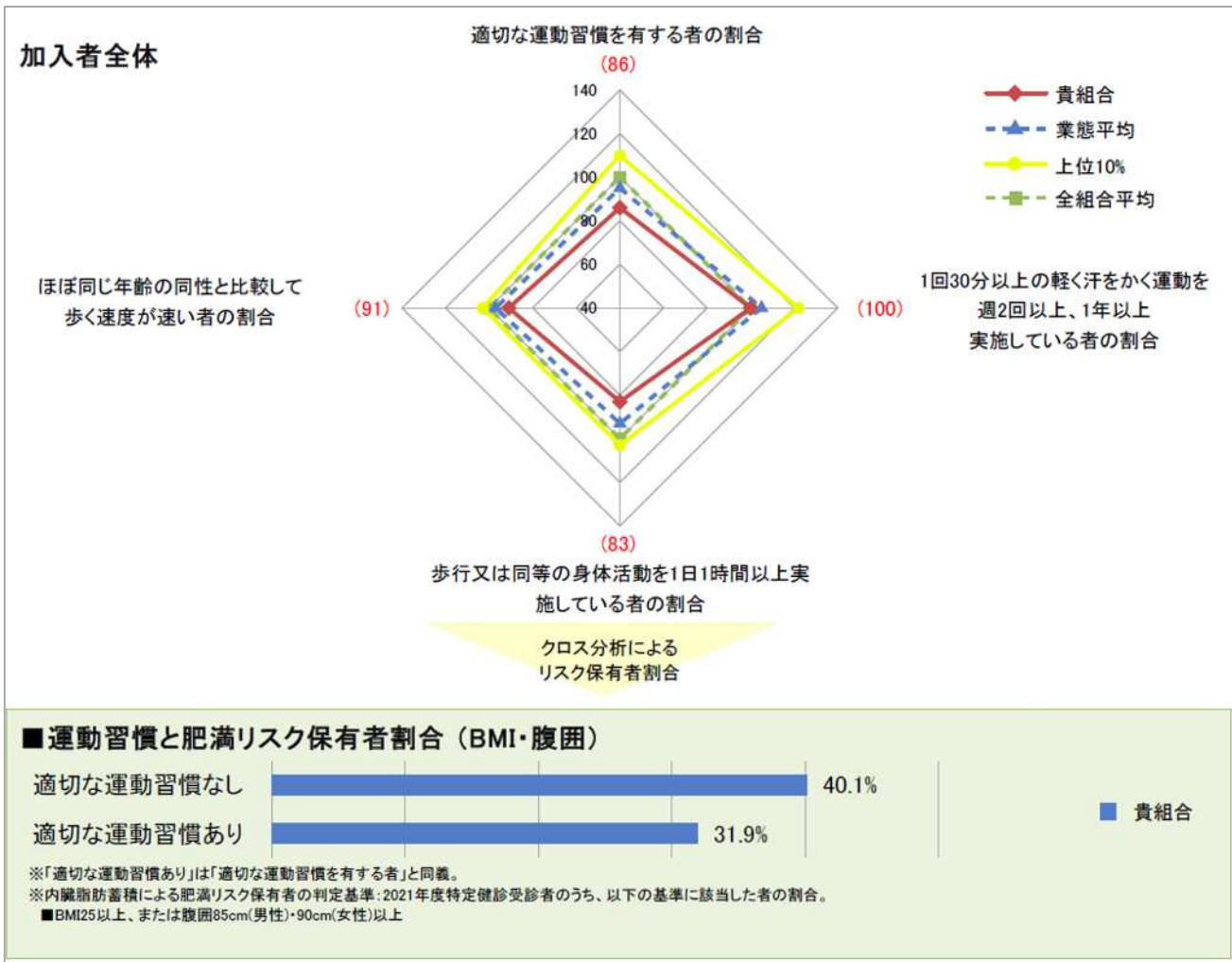




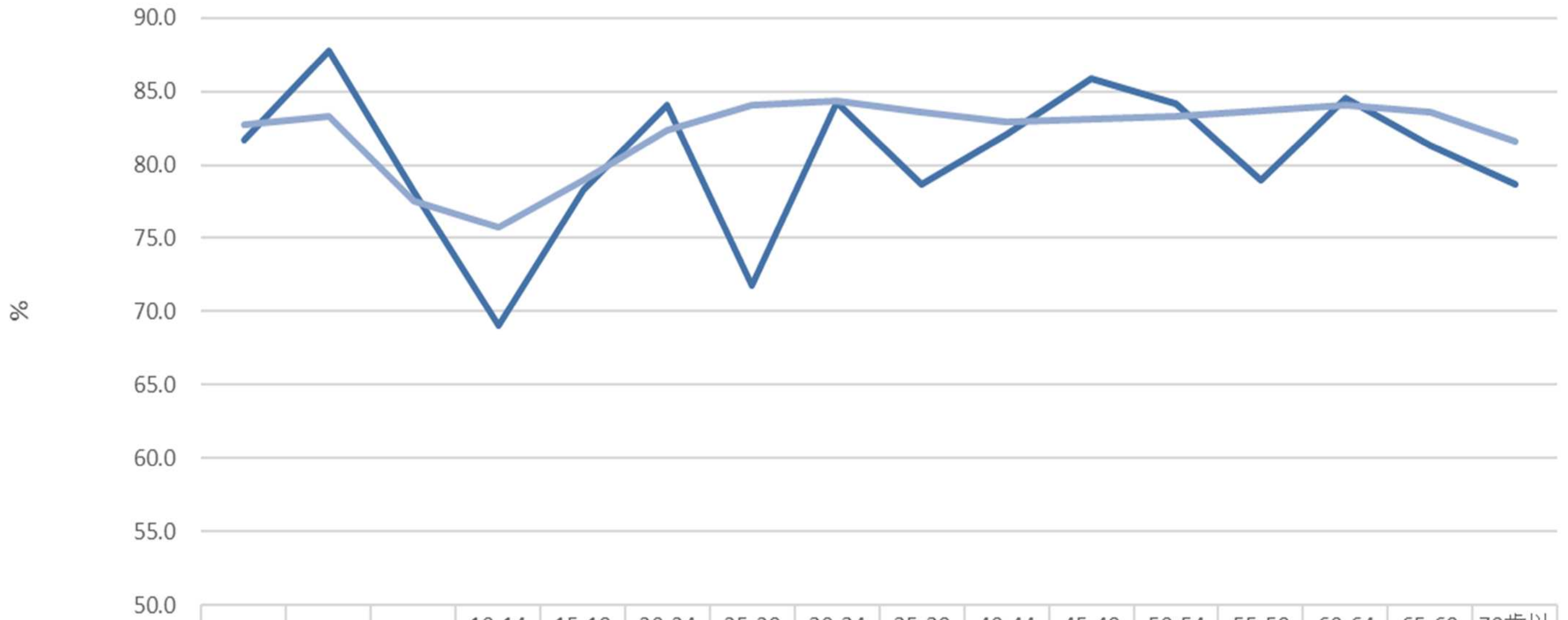








2021年度後発医薬品の使用割合



	合 計	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
■ 健保組合	81.7	87.7	78.2	69.0	78.3	84.0	71.8	84.2	78.7	82.1	85.9	84.2	79.0	84.5	81.4	78.7
■ 全体集計値	82.8	83.3	77.5	75.8	78.9	82.4	84.1	84.3	83.6	82.9	83.2	83.4	83.7	84.0	83.6	81.6



## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ, ウ, カ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別でみると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>50代以降に発症・重症化させないよう、予防対策が可能な「循環器疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患罹患」の対策を講じる。</li> <li>早期対応や重症化を防ぐために健診受診や特定保健指導対策など基本の保健事業を実施していく。</li> <li>がん検診後の受診勧奨による精密検査、受診確認の徹底。</li> <li>女性の健康づくり支援を強化する。</li> </ul>	✓
2	ウ, エ, オ	<ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病の受診勧奨者割合が増加</li> <li>慢性腎臓病の要保健指導者が増えている。</li> <li>人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額</li> <li>メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>すでに糖尿病の受診勧奨は実施しているため、「慢性腎臓病」という新たな視点での対策を行い、重症化予防対策を実施を目指す。（「慢性腎臓病」対策で、糖尿病、高血圧、高脂血症リスク保有者対策も兼ねる）</li> </ul>	✓
3	ウ, エ, コ	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動習慣リスクが他健保よりも悪い</li> <li>運動習慣なしの人に肥満リスク保有者割合が高い</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防対策の1つとして運動習慣の改善に資するような対策を講じていく。</li> <li>全国に加入者がいることから一律の対策ではなく、加入事業所ごとに自主的に実施できるような、事業所の取組をサポートする対策を検討する。</li> </ul>	
4	イ, カ, ケ	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙者が他健保よりも多い</li> <li>メタボ予備軍、該当者の3割が喫煙者</li> <li>1人当たりの医療費で最も高額な疾患が「新生物」について「呼吸器疾患」「循環器疾患」。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費が高額な疾患の要因の1つに喫煙が関係していることから、喫煙対策を引き続き実施していく。</li> <li>個別の支援対策を継続しつつ、各事業所の健康経営の取り組みの1つとして禁煙対策を盛り込むことを推進していく。</li> </ul>	
5	キ	<ul style="list-style-type: none"> <li>気分（感情）障害の1人当たりの医療費が増加。</li> <li>気分障害の1人当たりの医療費を年齢別・男女別でみると男性では30代前半と40代前半が多く、女性は10代後半、50代前半、60代後半が高い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業主が実施しているストレスチェックを基に実施しているメンタルヘルスクア対策に健保がどのように関わることができるか連携の方向性を模索する。</li> </ul>	
6	ク	<ul style="list-style-type: none"> <li>残存歯数や健全歯数は多いものの、歯肉・歯周病の1人当たりの医療費が、全健保よりも高い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯周病に関連の深い「循環器疾患」や「内分泌・栄養・代謝疾患」の医療費も高いことから、それらの疾患対策と合わせながら歯肉・歯周病対策の保健事業を推進する。</li> </ul>	

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	加入者の3割は香川県外居住者	➔	居住地域に関係なく参加できる保健事業の提案や、各事業所が主体で実施する健康づくり事業をバックアップする方向に事業をシフトする。
2	45～54歳の世代が多く、将来、定年制度の改定があれば、前期高齢者の加入者が増加する可能性大	➔	前期高齢者の医療費適正化に向けた事業の展開も視野にいれる。
3	香川県外居住者の特定保健指導実施率が低いために、全体の実施率が上昇しない	➔	香川県外の特定保健指導実施率向上のための施策を考慮する。

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	健保が主体となり展開している事業が多いため、参加者が限定される事業が多い。	➔	各事業所が主体で実施している事業へのバックアップや、事業所が主体で実施できるようにサポートする仕組みの構築。
2	女性の健康支援は、年に1回の被保険者女性だけの健康教室開催のみ	➔	被保険者女性に対しては教室以外の支援、被扶養者女性への支援についても検討していく。
3	禁煙支援については、年2回の禁煙ラリーと禁煙外来補助事業ともに、参加者が少なくなってきた。	➔	各事業所の禁煙対策状況（例：喫煙時間の設定、施設内禁煙の状況など）を確認し、健保の支援展開を考える。
4	メンタルヘルス対策としての事業は、女性の健康教室の開催や、加入者が利用できる社外相談窓口の設置のみ。	➔	事業主のストレスチェック後の結果分析や対応について確認し、健保としての支援展開を考える。社外相談窓口の啓発活動も各種事業で盛り込んでいく。



## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

「循環器疾患」や「内分泌・栄養・代謝疾患」等への重症疾患への罹患率減少を優先し、1人当たりの医療費を低減させることを目的とする。  
そのためには、「糖尿病」の受診勧奨者割合や「慢性腎臓病」の受診勧奨者と要保健指導者割合を減少させることを目指す。

### 事業全体の目標

- 糖尿病受診勧奨者割合を5%以下。
- 慢性腎臓病（CKD）の受診勧奨者割合2%未満、要保健指導者割合を15%以下。
- 1人当たりの医療費が全世代で全健保平均値以下

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

保健指導宣伝	健康経営支援（コラボヘルス）
--------	----------------

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健診結果情報提供
保健指導宣伝	広報事業（健保だより等広報誌、HPなど）

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	節目の健康教育
保健指導宣伝	医療費情報提供と後発医薬品促進
疾病予防	40才未満被扶養者（配偶者）健診
疾病予防	がん検診
疾病予防	歯科保健事業
疾病予防	40才未満保健指導事業
疾病予防	重症化予防事業
疾病予防	禁煙支援事業
疾病予防	女性の健康支援事業
疾病予防	健康相談事業（こころとからだの健康づくり支援）
体育奨励	運動促進事業

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連																	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度																			
職場環境の整備												アウトカム指標																									
保健指導宣伝	1	既存	健康経営支援(コラポヘルス)	全て	男女	0~74	加入者全員	1	ケ	アイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業主と健康経営担当者と連携。</li> <li>事業所ごとのレポート作成はシステム会社へ委託</li> <li>スマートミーティングは安全衛生G主催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康推進会議開催のための準備</li> <li>事業所ごとの健康スコアリングレポートの配布</li> <li>健康経営取組サポート</li> <li>スマートミーティングへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営推進会議開催年1回</li> <li>事業所ごとの健康スコアリングレポートの配布</li> <li>健康経営取組サポート</li> <li>スマートミーティングへの参加</li> </ul>	前年度同様	前年度同様	前年度同様	前年度同様	加入事業所(被保険者数10人以上)12事業所が健康経営認定を維持できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別で見ると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>糖尿病の受診勧奨者割合が増加</li> <li>慢性腎臓病の要保健指導者が増えている。</li> <li>人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額</li> <li>メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。</li> <li>運動習慣リスクが他健保よりも悪い</li> <li>運動習慣なしの人に肥満リスク保有者割合が高い</li> <li>喫煙者が他健保よりも多い</li> <li>メタボ予備軍、該当者の3割が喫煙者</li> <li>1人当たりの医療費で最も高額な疾患が「新生物」について「呼吸器疾患」「循環器疾患」。</li> <li>気分(感情)障害の1人当たりの医療費が増加。</li> <li>気分障害の1人当たりの医療費を年齢別・男女別で見ると男性では30代前半と40代前半が多く、女性は10代後半、50代前半、60代後半が高い。</li> </ul>																		
																				60	60	60	60	60	60												
																				健康経営認定事業所数(【実績値】9件 【目標値】令和6年度:12件 令和7年度:12件 令和8年度:12件 令和9年度:12件 令和10年度:12件 令和11年度:12件)-												事業実施による成果を測るための定量的な指標を設定することが困難なため(アウトカムは設定されていません)					
																				健康スコアリングレポート配布(【実績値】1回 【目標値】令和6年度:1回 令和7年度:1回 令和8年度:1回 令和9年度:1回 令和10年度:1回 令和11年度:1回)-																	
健康経営推進会議開催(【実績値】- 【目標値】令和6年度:1回 令和7年度:1回 令和8年度:1回 令和9年度:1回 令和10年度:1回 令和11年度:1回)-																																					
加入者への意識づけ												アウトカム指標																									
												264																									

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
保健指導宣伝	2,5	新規	健診結果情報提供	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員,その他	1	エ,ク	・個別情報冊子クビオ配布(対象者:被保険者45、50、55、60歳) ・毎月10日以降に支払基金に閲覧用データ登録→マイナポータルの周知 ・コスモWEB導入	ク	・個別情報冊子クビオ→SOMPOヘルスケアに委託。 ・ダイワのシステム活用	・個別情報冊子クビオ配布(対象者:被保険者45、50、55、60歳) ・毎月10日以降に支払基金に閲覧用データ登録→マイナポータルの周知 ・コスモWEB導入検討	・個別情報冊子クビオ配布(対象者:被保険者45、50、55、60歳) ・毎月10日以降に支払基金に閲覧用データ登録→マイナポータルの周知 ・コスモWEB導入?	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	加入者の健保概要や健康づくりについてのヘルスリテラシーを高め、健康意識の醸成をはかり、生活改善につなげる。(健康スコアリングレポート指標の改善)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>・1人当たりの医療費を年齢階級別で見ると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>・1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>・糖尿病の受診勧奨者割合が増えている。</li> <li>・人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額</li> <li>・メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。</li> <li>・運動習慣リスクが他健保よりも悪い</li> <li>・運動習慣なしの人に肥満リスク保有者割合が高い</li> <li>・喫煙者が他健保よりも多い</li> <li>・メタボ予備軍、該当者の3割が喫煙者</li> <li>・1人当たりの医療費で最も高額な疾患が「新生物」について「呼吸器疾患」「循環器疾患」。</li> </ul>
クビオアンケート回答率(【実績値】64.7% 【目標値】令和6年度:70% 令和7年度:70% 令和8年度:70% 令和9年度:75% 令和10年度:75% 令和11年度:80%)クビオ配布者のうち、メールアドレスを持っている人に送付												生活習慣病リスク保有者の割合(【実績値】2コ 【目標値】令和6年度:3コ 令和7年度:3コ 令和8年度:3コ 令和9年度:4コ 令和10年度:4コ 令和11年度:4コ)健康スコアリングレポートのニコちゃんマーク(1コ:不良、5コ:良好)								
閲覧用データ登録回数(【実績値】12回 【目標値】令和6年度:12回 令和7年度:12回 令和8年度:12回 令和9年度:12回 令和10年度:12回 令和11年度:12回)-												適正な生活習慣を有する者の割合(【実績値】4コ 【目標値】令和6年度:4コ 令和7年度:4コ 令和8年度:4コ 令和9年度:5コ 令和10年度:5コ 令和11年度:5コ)健康スコアリングレポートのニコちゃんマーク(1コ:不良、5コ:良好)								
	2,5	既存	広報事業(健保だより等広報誌、HPなど)	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	エ,ク	・健保だより:年3回HP上に掲載(1月・5月・8月) ・ヘルシー&ライフ送付(前期高齢者):年4回(5月・8月・11月・2月)自宅送付 ・赤ちゃんと送付:被保険者で家庭内で出産があった対象者に1年間送付、月間終了後の1歳~2歳未満に季刊を年4回配布 ・健保健康クイズの実施:10月健康強調月間	ク	・「健保だより」「ヘルシー&ライフ」:法研関西委託 ・「赤ちゃんと」:赤ちゃんとママ社委託 ・HPは健保にて随時更新	・健保だより:年3回HP上に掲載(1月・5月・8月) ・ヘルシー&ライフ送付(前期高齢者):年4回(5月・8月・11月・2月)自宅送付 ・赤ちゃんと送付:被保険者で家庭内で出産があった対象者に1年間送付、月間終了後の1歳~2歳未満に季刊を年4回配布	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	加入者のヘルスリテラシーを高め、健康意識の醸成につなげることで、健保の事業活動への関心が高まり、スコアリングレポートの評価値が改善する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>・1人当たりの医療費を年齢階級別で見ると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>・1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>・運動習慣リスクが他健保よりも悪い</li> <li>・運動習慣なしの人に肥満リスク保有者割合が高い</li> <li>・喫煙者が他健保よりも多い</li> <li>・メタボ予備軍、該当者の3割が喫煙者</li> <li>・1人当たりの医療費で最も高額な疾患が「新生物」について「呼吸器疾患」「循環器疾患」。</li> <li>・気分(感情)障害の1人当たりの医療費が増加。</li> <li>・気分障害の1人当たりの医療費を年齢別・男女別で見ると男性では30代前半と40代前半が多く、女性は10代後半、50代前半、60代後半が高い。</li> <li>・残存歯数や健全歯数は多いものの、歯肉・歯周病の1人当たりの医療費が、全健保よりも高い。</li> </ul>	
健保だよりクイズ応募者数(【実績値】76件 【目標値】令和6年度:80件 令和7年度:80件 令和8年度:90件 令和9年度:90件 令和10年度:90件 令和11年度:100件)健保だよりでは、毎年1月号は図書カードが当たるクイズを実施。応募件数を見ることで、健保だより認知度を把握する。												事業実施による成果を測るための定量的な指標を設定することが困難なため(アウトカムは設定されていません)								
健保HP閲覧数(【実績値】1,174件 【目標値】令和6年度:1,200件 令和7年度:1,200件 令和8年度:1,200件 令和9年度:1,300件 令和10年度:1,300件 令和11年度:1,400件)月平均閲覧数																				
健保健康クイズ応募者数(【実績値】156件 【目標値】令和6年度:160件 令和7年度:160件 令和8年度:160件 令和9年度:170件 令和10年度:170件 令和11年度:170件)-																				

個別の事業

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診	全て	男女	40～75	被保険者,被扶養者,基準該当者,任意継続者	1	オ,ケ,サ	ア,カ	<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者：各事業所の定期健診に合わせて実施。</li> <li>被扶養者：2月もしくは4月に受診調査。被保険者と同日受診か受診券受診を選択。</li> <li>被保険者単身赴任の家族については個別受診(日本健康文化振興会委託)</li> <li>任継続被保険者・被扶養者：受診券を5月末発送。</li> </ul>	1,000	-	-	-	-	-	健康状態の確認と生活習慣病の早期発見、重症化予防につなげるため実施率の向上を目指す(受診率93%以上/被扶養者80%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別で見ると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>糖尿病の受診勧奨者割合が増加</li> <li>慢性腎臓病の要保健指導者が増えている。</li> <li>人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額</li> <li>メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。</li> </ul>	
												被扶養者への受診勧奨通知(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)	特定健診実施率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：93% 令和7年度：93% 令和8年度：93% 令和9年度：94% 令和10年度：94% 令和11年度：94%)-							
												パート先受診者結果回収(【実績値】3人 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：7人 令和9年度：7人 令和10年度：7人 令和11年度：10人)	被扶養者の未受診者割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：19% 令和7年度：19% 令和8年度：18% 令和9年度：18% 令和10年度：17% 令和11年度：17%)-							
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ,オ,ク,ケ,コ,サ	ア,ウ,カ	<ul style="list-style-type: none"> <li>【香川県予防医学協会受診者】</li> <li>被保険者：動機づけ→対象者全員実施、積極的→50歳以下のみ予防医学協会</li> <li>被扶養者：予防医学協会</li> <li>【その他】</li> <li>香川連合会委託先に委託</li> </ul>	-	-	-	-	-	-	実施率を向上させ(実施率60%以上)、生活習慣関連疾患の予防につなげる(特定保健指導対象者割合の減少)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別で見ると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>糖尿病の受診勧奨者割合が増加</li> <li>慢性腎臓病の要保健指導者が増えている。</li> <li>人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額</li> <li>メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。</li> <li>運動習慣リスクが他健保よりも悪い</li> <li>運動習慣なしの人に肥満リスク保有者割合が高い</li> </ul>	
												特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：55% 令和7年度：55% 令和8年度：58% 令和9年度：58% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)-	特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：18% 令和7年度：18% 令和8年度：17.5% 令和9年度：17.5% 令和10年度：17% 令和11年度：17%)-							
													特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：23% 令和7年度：23% 令和8年度：24% 令和9年度：24% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)-							
													腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-							

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
保健指導宣伝	5	新規	節目の健康教育	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	3	エ,ク,ケ,サ	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入社員研修時の健保概要や健康づくり教育</li> <li>退職前研修での健保概要や健康づくり教育</li> <li>クビオ配布対象者で、55歳への健康づくり教育</li> </ul>	ア,イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入社員と定食前研修：人事労務G主催で、健保の周知時間を確保</li> <li>55歳健康教室：安全衛生Gと共同で開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入社員研修：4月</li> <li>退職前研修：4月</li> <li>55歳健康教室：9月から10月</li> </ul>	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	加入者の健保概要や健康づくりについてのヘルスリテラシーを高め、健康意識の醸成、生活改善につなげ、40才以上の特定保健指導対象者の減少を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別で見ると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>糖尿病の受診勧奨者割合が増加</li> <li>慢性腎臓病の要保健指導者が増えている。</li> <li>人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額</li> <li>メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。</li> <li>運動習慣リスクが他健保よりも悪い</li> <li>運動習慣なしの人に肥満リスク保有者割合が高い</li> </ul>
	研修開催数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)-												特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：18% 令和7年度：18% 令和8年度：17.5% 令和9年度：17.5% 令和10年度：17% 令和11年度：17%)-								
	5,7	既存(法定)	医療費情報提供と後発医薬品促進	全て	男女	0～74	加入者全員、基準該当者	1	エ,キ	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準該当者へ差額通知を発行。</li> <li>ホームページ機関誌等で周知。</li> <li>マイナーポータルの啓発。</li> </ul>	ク	<ul style="list-style-type: none"> <li>健保内で実施</li> <li>配布物や通知作成は委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療費のお知らせ：2月に郵送</li> <li>ジェネリック通知：2月に発送</li> </ul>	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	医療費の適正化(薬剤費削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別で見ると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>糖尿病の受診勧奨者割合が増加</li> <li>慢性腎臓病の要保健指導者が増えている。</li> <li>人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額</li> <li>メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。</li> </ul>	
通知回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)-												ジェネリック医薬品使用率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：82% 令和7年度：82% 令和8年度：82.5% 令和9年度：82.5% 令和10年度：83% 令和11年度：83%)数量の割合									
疾病予防	3	既存	40才未満被扶養者(配偶者)健診	全て	男女	18～39	被扶養者,その他	1	ア,オ,ク,ケ	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象：被保険者35才～39才以下の被扶養者(配偶者)</li> <li>県内2月、県外4月に対象者がいる被保険者に周知し、申込してもらう。</li> <li>希望者は、被保険者と同じ健診内容を、同施設、同日に生活習慣病健診を受診。</li> </ul>	ア,カ	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望者リストを各事業所に送付し、被保険者と一緒に予約を依頼。</li> <li>結果は、特定健診結果と同時に健保へ届く(事業所もしくは、施設から)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象：被保険者35才～39才以下の被扶養者(配偶者)</li> <li>県内2月、県外4月に対象者がいる被保険者に周知し、申込してもらう。</li> <li>希望者は、被保険者と同じ健診内容を、同施設、同日に生活習慣病健診を受診。</li> </ul>	前年同様実施	前年同様実施	前年同様実施	前年同様実施	前年同様実施	40才未満の被扶養者に対する健診を促し、健診受診の習慣づくりと健康意識の向上につなげ、被扶養者の特定健診実施率の上昇を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別で見ると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>糖尿病の受診勧奨者割合が増加</li> <li>慢性腎臓病の要保健指導者が増えている。</li> <li>人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額</li> <li>メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。</li> </ul>	
	40才未満被扶養者受診者割合(【実績値】47.0% 【目標値】令和6年度：48% 令和7年度：48% 令和8年度：49% 令和9年度：49% 令和10年度：49% 令和11年度：49%)希望者/対象者数												被扶養者の特定健診実施率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：81% 令和7年度：81% 令和8年度：82% 令和9年度：82% 令和10年度：83% 令和11年度：83%)-								



予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3,4	既存		がん検診	全て	男女	35～74	基準該当者	1	ウ,ク	・【胃・大腸検診】：生活習慣病健診、特定健診と同時受診 →被保険者 35才以上・被扶養者 被保険者と健診をペア受診する人 ・【肺がん】：生活習慣病健診、特定健診と同時受診 →被保険者 35才以上(費用は事業主)・被扶養者 被保険者と健診をペア受診する人 ・【乳がん・子宮がん検診】：個別受診 →被保険者・被扶養者2年に1回(乳がん40才以上、子宮がん20才以上：被扶養者40才未満は配偶者のみ) ・受診券対象者→受診券送付時に市町村がん検診周知 ・年度末→要精密検査者へ受診確認実施	カ,ク	・胃・大腸がん・肺がん→事業主に依頼 ・乳がん、子宮がん→対象者に健保から案内(健診は予防医学協会と日本健康文化振興会へ委託)	・【胃・大腸検診】：生活習慣病健診、特定健診と同時受診 →被保険者 35才以上(費用は事業主)・被扶養者 被保険者と健診をペア受診する人 ・【乳がん・子宮がん検診】被扶養者対象 ・受診券対象者→受診券送付時に市町村がん検診周知 ・年度末→要精密検査者へ受診確認実施	【乳がん・子宮がん検診】被保険者対象 それ以外は、前年同様実施	【乳がん・子宮がん検診】被扶養者対象 それ以外は、前年同様実施	【乳がん・子宮がん検診】被保険者対象 それ以外は、前年同様実施	【乳がん・子宮がん検診】被扶養者対象 それ以外は、前年同様実施	【乳がん・子宮がん検診】被保険者対象 それ以外は、前年同様実施	がんの早期発見、早期治療につなげ、新生物1人当たりの医療費の減少を目指す。	・1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・1人当たりの医療費を年齢階級別でみると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。 50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。  ・喫煙者が他健保よりも多い ・メタボ予備軍、該当者の3割が喫煙者 ・1人当たりの医療費で最も高額な疾患が「新生物」について「呼吸器疾患」「循環器疾患」。
精密検査受診確認手紙の返送率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：55% 令和7年度：55% 令和8年度：60% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：65%)												新生物1人当たりの医療費(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12,000円 令和7年度：12,000円 令和8年度：11,000円 令和9年度：11,000円 令和10年度：10,000円 令和11年度：10,000円)精密検査者が増えて一時的に医療費が増加する場合がある。								
精密検査受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：35% 令和9年度：35% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)																				
3,4	既存		歯科保健事業	全て	男女	18(上限なし)	被保険者	1	ウ,ク,ケ,サ	【香川県内】：歯科健診被保険者：3年に1回受診案内、8月実施→年度末に要精密検査者に受診調査【香川県外】：歯科通信講座被保険者：希望者調査	ア,ウ,ク	・歯科健診：総合健康促進保健協会関西に委託 ・歯科通信講座：香川連合会企画に参加、サンスター財団お口ケア30daysの実施	【香川県内】：歯科健診被保険者：3年に1回受診案内、8月実施→年度末に要精密検査者に受診調査【香川県外】：歯科通信講座被保険者：希望者調査	【香川県内】タダノアイレック・コアテクセンター実施 その他は例年通り ※歯科通信講座の継続検討	R6年と同様に実施	前年と同様に実施	【香川県内】タダノアイレック・コアテクセンター実施 その他は例年通り ※歯科通信講座の継続検討	R9年と同様に実施	う歯、歯周病等の早期発見、早期治療につなげ、口腔ケアセルフケアの促進をはかる(何でも噛んでたべることができる人の割合の増加)	・1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・1人当たりの医療費を年齢階級別でみると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。 50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。  ・残存歯数や健全歯数は多いものの、歯肉・歯周病の1人当たりの医療費が、全健保よりも高い。
歯科健診参加率(【実績値】 51.6% 【目標値】 令和6年度：51% 令和7年度：51% 令和8年度：52% 令和9年度：52% 令和10年度：53% 令和11年度：53%)												歯科健診受診者DMFT(【実績値】 7.9本 【目標値】 令和6年度：8本 令和7年度：8本 令和8年度：8本 令和9年度：7.5本 令和10年度：7.5本 令和11年度：7.5本)DMFT=健全な歯以外の合計								
お口ケア参加者数(【実績値】 92人 【目標値】 令和6年度：92人 令和7年度：92人 令和8年度：95人 令和9年度：95人 令和10年度：100人 令和11年度：100人)												何でも噛んで食べることができる人(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：85% 令和7年度：85% 令和8年度：85% 令和9年度：86% 令和10年度：86% 令和11年度：86%)被保険者(任継除く)のみ								
												歯肉・歯周疾患1人当たりの医療費(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：17,000円 令和7年度：17,000円 令和8年度：16,000円 令和9年度：16,000円 令和10年度：15,000円 令和11年度：15,000円)								
												う蝕1人当たりの医療費(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,900円 令和7年度：1,900円 令和8年度：1,800円 令和9年度：1,800円 令和10年度：1,700円 令和11年度：1,700円)								
4,5	既存		40才未満保健指導事業	全て	男女	18～39	被保険者,基準該当者	3	エ,オ,ク,ケ,サ	・対象者：前年度の健診結果で「積極的支援」に該当している40歳未満の者(県内、県外を交互に実施) ・対象者に案内送付し、希望する者 ・オンラインにて保健指導を実施する	ア,イ,ク	・対象者の選定を事業主と共同で実施。 ・保健指導は、香川連合会が契約している保健指導事業者で実施。	・対象者：香川県外(前年度の健診結果で「積極的支援」に該当している40歳未満の者) ・対象者に案内送付し、希望する者 ・オンラインにて保健指導を実施する	・対象者：香川県内 ・その他前年同様	・対象者：香川県外 ・その他前年同様	・対象者：香川県内 ・その他前年同様	・対象者：香川県外 ・その他前年同様	・対象者：香川県内 ・その他前年同様	40才未満の若年世代から生活習慣改善を動機づけ、将来の特定保健指導対象者を減少させる。	・1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・1人当たりの医療費を年齢階級別でみると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。 50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。  ・糖尿病の受診勧奨者割合が増加 ・慢性腎臓病の要保健指導者が増えている。 ・人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額 ・メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。  ・運動習慣リスクが他健保よりも悪い ・運動習慣なしの人に肥満リスク保有者割合が高い

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
参加者数【実績値】13人 【目標値】令和6年度：15人 令和7年度：15人 令和8年度：15人 令和9年度：15人 令和10年度：15人 令和11年度：15人)-												特定保健指導対象者割合【実績値】 - 【目標値】令和6年度：18% 令和7年度：18% 令和8年度：17.5% 令和9年度：17.5% 令和10年度：17% 令和11年度：17%)-									
-												内臓脂肪症候群の割合【実績値】 - 【目標値】令和6年度：16% 令和7年度：16% 令和8年度：15.5% 令和9年度：15.5% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)-									
4	既存	重症化予防事業	全て	男女	40～(上限なし)	基準該当者	3	イ,ク	【CKD対策】 ・対象者：尿蛋白、eGFRの値により受診勧奨、もしくは保健指導を実施。 ・受診勧奨、保健指導ともに手紙を送付し、回答してもらう 【被扶養者精検受診確認】 ・生活習慣病→年度末レセチェックし、未受診者へ手紙にて受診勧奨	ア,イ,キ	【CKD対策】 ・香川県慢性腎臓病対策協議会のモデル実施（CKD重症化予防のための診療体制の構築並びに多種職種連携モデル事業）を参考に実施。→医師会との連携を確保済み ・健保から通知を送付し、回答を回収、分析。被保険者の結果については事業主と共有。 【被扶養者精検受診確認】 ・健保で実施	【CKD対策】 ・対象者：尿蛋白、eGFRの値により受診勧奨、もしくは保健指導を実施。 ・受診勧奨、保健指導ともに手紙を送付し、回答してもらう 【被扶養者精検受診確認】 ・生活習慣病→年度末レセチェックし、未受診者へ手紙にて受診勧奨	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	適切な医療機関への受診行動や生活習慣改善が図れるように支援し、重症化予防に結びつけることを目的に、生活習慣関連疾患医療費の減少人工透析移行者ゼロをめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別でみると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>糖尿病の受診勧奨割合が増えている。</li> <li>人工透析1人当たりの医療費が全健保よりも高額</li> <li>メタボ該当者のうち「高血糖・高脂血症・高血圧」の3つのリスクを持っている人が多い。</li> </ul>		
CKD受診勧奨者数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：4人 令和10年度：4人 令和11年度：4人)-												当該年度中に人工透析移行した人数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)-									
CKD保健指導者数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：170人 令和7年度：170人 令和8年度：160人 令和9年度：160人 令和10年度：150人 令和11年度：150人)-												CKD基準範囲内の割合【実績値】 - 【目標値】令和6年度：78% 令和7年度：78% 令和8年度：79% 令和9年度：79% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-									
被扶養者未受診者数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：110人 令和7年度：110人 令和8年度：100人 令和9年度：100人 令和10年度：95人 令和11年度：95人)-												糖尿病1人当たりの医療費【実績値】 - 【目標値】令和6年度：4,800円 令和7年度：4,800円 令和8年度：4,700円 令和9年度：4,700円 令和10年度：4,600円 令和11年度：4,600円)-									
5	既存	禁煙支援事業	全て	男女	18～74	被保険者	3	ア,ケ	・禁煙外来補助事業（年間を通して）：被保険者、被扶養者ともに ・禁煙ラリーの開催（年1～2回実施） ・ノンスモ禁煙サポートの導入（禁煙補助薬使用）	ア,イ,コ	・禁煙外来：事業主経由でグループ全体に周知 ・禁煙ラリー：健保主催で周知 ・ノンスモ禁煙サポート：リンケージ委託	・禁煙外来補助事業（年間を通して）：被保険者、被扶養者ともに ・禁煙ラリーの開催（年1～2回実施） ・ノンスモ禁煙サポートの導入（禁煙補助薬使用）	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	喫煙や受動喫煙に伴う健康リスクを低減させるため、喫煙率低下をめざす（被保険者、被扶養者合計：25%以下）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別でみると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>喫煙者が他健保よりも多い</li> <li>メタボ予備軍、該当者の3割が喫煙者</li> <li>1人当たりの医療費で最も高額な疾患が「新生物」について「呼吸器疾患」「循環器疾患」。</li> </ul>		
禁煙外来申請【実績値】1人 【目標値】令和6年度：2人 令和7年度：2人 令和8年度：2人 令和9年度：2人 令和10年度：2人 令和11年度：2人)-												喫煙率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：27% 令和7年度：27% 令和8年度：26% 令和9年度：26% 令和10年度：25% 令和11年度：24%)-					特定健診受診者（40才以上）：被保険者＋被扶養者の喫煙率				
禁煙ラリー参加者数【実績値】12人 【目標値】令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-												2020年喫煙者26名参加									
ノンスモ禁煙サポート参加者数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)-												-									
5	既存	女性の健康支援事業	全て	女性	20～(上限なし)	被保険者、被扶養者	3	エ,ク,ケ,サ	●女性の健康教室 健康強調月間10月頃に、被保険者向けに実施。 ●婦人科がん検診案内と健康情報の提供（ソイチエック導入）	ア,イ	●女性の健康教室 健保保健師が講師。安全衛生G保健師にサポート依頼。 ●健康情報提供（ソイチエック） 健保とヘルスケアシステムズで対応	10月：45才以上被保険者女性ソイチエック希望調査 11～12月：ソイチエック実施 2月：教室開催 ・女性用のアプリの調査	10月：45才被保険者と被扶養者女性ソイチエックの案内 10月：女性の健康教室 ・女性用のアプリの導入検討	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	女性がライフイベントを通じて健康な生活が送れ、被保険者女性は働きづけることができることができるよう支援し、女性の1人当たりの医療費を男性並みに近づける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの医療費では「新生物」「呼吸器疾患」「循環器疾患」が高く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を年齢階級別でみると50代以降に全健保平均よりも医療費が上回る。</li> <li>50代以降では特に「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>1人当たりの医療費を男女別にみると女性の方が高い。</li> <li>気分（感情）障害の1人当たりの医療費が増加。</li> <li>気分障害の1人当たりの医療費を年齢別・男女別でみると男性では30代前半と40代前半が多く、女性は10代後半、50代前半、60代後半が高い。</li> </ul>		

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
健康教室参加者数(【実績値】27人 【目標値】令和6年度:30人 令和7年度:30人 令和8年度:30人 令和9年度:30人 令和10年度:30人 令和11年度:30人)毎年度対象年齢が変るような内容にする(更年期世代、若年世代などに合わせて実施)ために一定の人数が参加												女性の1人当たりの医療費(【実績値】- 【目標値】令和6年度:170,000円 令和7年度:170,000円 令和8年度:165,000円 令和9年度:165,000円 令和10年度:160,000円 令和11年度:160,000円)-								
ソイチェック参加率(【実績値】- 【目標値】令和6年度:80% 令和7年度:80% 令和8年度:80% 令和9年度:80% 令和10年度:80% 令和11年度:80%)																				
5,6	既存	健康相談事業(こころとからだの健康づくり支援)	全て	男女	0~74	加入者全員	3	エ,キ,ケ	【こころとからだの健康支援】 電話、メール、面談等の健康相談の24時間実施 被保険者、被扶養者が利用でき、どんな相談にも応じる 【相談事業周知】 毎月1回イントラにて健康情報掲載、健保日より掲載	ア,ク	相談事業:保健同人フロンティアへ委託 相談事業の広報:健保組合	【相談事業周知】 毎月1回イントラにて健康情報掲載、健保日より掲載	408	-	-	-	-	-	こころとからだの悩みのが解消し、受診控えの減少、過剰受診の減少につなげ、将来的に医療費が削減できる	・気分(感情)障害の1人当たりの医療費が増加。 ・気分障害の1人当たりの医療費を年齢別・男女別でみてみると男性では30代前半と40代前半が多く、女性は10代後半、50代前半、60代後半が高い。
年間周知回数(【実績値】6回 【目標値】令和6年度:12回 令和7年度:12回 令和8年度:12回 令和9年度:12回 令和10年度:12回 令和11年度:12回)R5年度は10月~実施												1人あたりの医療費(【実績値】- 【目標値】令和6年度:140,000円 令和7年度:140,000円 令和8年度:140,000円 令和9年度:130,000円 令和10年度:130,000円 令和11年度:130,000円)-								
利用者件数(【実績値】- 【目標値】令和6年度:100件 令和7年度:100件 令和8年度:110件 令和9年度:110件 令和10年度:120件 令和11年度:120件)72件(月6件) 相談実績28年度:こころの相談:72件、からだの相談:55件												気分(感情)障害1人当たりの医療費(【実績値】- 【目標値】令和6年度:2,000円 令和7年度:2,000円 令和8年度:1,900円 令和9年度:1,900円 令和10年度:1,800円 令和11年度:1,800円)-								
体育奨励	5	既存	運動促進事業	一部の事業所	男女	18~65	加入者全員	3	キ,ケ	・事業所主催のKENPOS参加者への参加賞提供 ・事業所への運動事業支援	ア,キ,ク	・安全衛生Gとの連携 ・健康経営推進会議での情報収集、周知	1,300	-	-	-	-	運動する機会を増やし、適切な運動習慣を有する者が増える。	・運動習慣リスクが他健保よりも悪い ・運動習慣なしの人に肥満リスク保有者割合が高い	
事業所外の運動イベント参加者数(【実績値】240人 【目標値】令和6年度:250人 令和7年度:250人 令和8年度:250人 令和9年度:250人 令和10年度:250人 令和11年度:250人)申込者数でカウント												適切な運動習慣を有する者(【実績値】- 【目標値】令和6年度:29% 令和7年度:29% 令和8年度:30% 令和9年度:30% 令和10年度:31% 令和11年度:31%)スコアリングレポートのデータを参照								
事業所内の運動イベント参加者数(【実績値】320人 【目標値】令和6年度:350人 令和7年度:350人 令和8年度:370人 令和9年度:370人 令和10年度:380人 令和11年度:380人)-																				

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施  
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築  
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他